

や
な
は



で
す
よ。

I love なは！





市長の写真

海に囲まれた沖縄・那覇市でぜひ、食していただきたいのが、市魚に指定されているマグロ「沖縄美ら海マグロ」です。那覇で水揚げされた冷凍しない「生」の状態だから新鮮そのもの。さらに1年を通して旬のマグロを食することができるのも特徴のひとつです。ぜひ、みなさんも食して、その違いに納得いただけるものと思います。



那覇市長

城間 幹子

はいたい。

那覇市長の城間幹子やいびーん。

那覇市は、沖縄本島の南部に位置し、亜熱帯の気候と豊かな風土に育まれ、歴史と文化の香り豊かな都市です。

さて、本市は、2015年度に中核市へ移行し、16年度には市制施行95周年を迎え、「人と人」「人と地域」そして「地域と企業」をつなぐ協働によるまちづくりで紡がれた人材を大切にし、風格ある県都・那覇としてさらなる高みを目ざして、歩を進めているところです。

これからも、夢や希望に溢れる子どもたちの笑顔が輝く「まちづくり」を推し進め、誰もが自分らしく暮らせるよう、取り組んでまいります。

みなさまには、この要覧をおとして、市民のみなさんが紡いできた活気あるまちの魅力を感じていただき、那覇への関心と愛着を持っていただけると幸いです。

ゆたさるべこう うにげーさびら。



新都心地区で毎年開催される「紙ヒコーキ大会」は、各学校PTAと地域コミュニティ、企業などが協賛する協働のイベントです

那覇市 市勢要覧 2017

やっぱり  ですよ。

那覇って何かと便利。バスやモノレールもあるし、空港にも近い。学校や職場、役所、アミューズメントが30分圏内にそろって、スマート&コンパクト シティ 那覇

目次

3 東南アジアの玄関口 那覇

“日常が楽しい”

4 那覇市民をやってみよう

- 5 マチグワーを楽しむ
- 6 まちなかの自然を楽しむ
- 7 地域の伝統文化に触れる
- 8 いつでもどこでも
エンターテインメント
- 9 行動派の欲張りさんには



Naha city is best !



10 もっと知りたい 那覇のまち

- 11 新都心地区・那覇中心地区
- 12 真和志・小禄地区
- 13 那覇西地区
- 14 首里・首里北地区

15 新名所もうすぐお目見え

16 那覇市政いろいろ

- 17 なは市政ダイジェスト
- 19 姉妹都市・友好都市
- 20 なはのイベント
- 21 位置と市域・シンボル
- 22 指定文化財一覧
- 23 那覇市のあゆみ

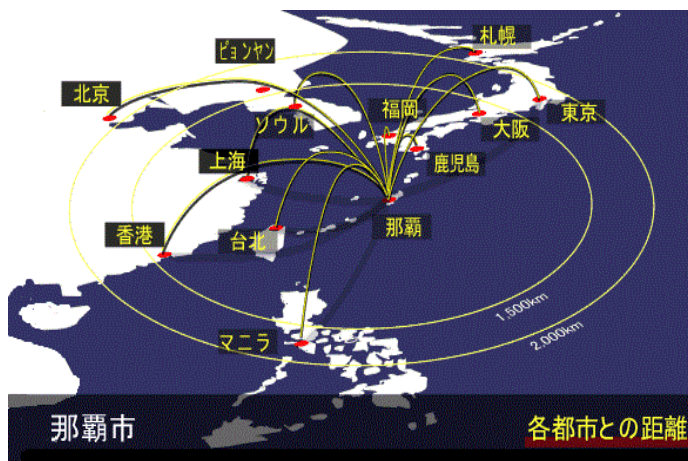
26 データで見る那覇



東南アジアへの玄関口



若狭バースに停泊するクルーズ船



那覇は、かつて、琉球王国の王都・商都としてアジア諸国との交易により栄えてきた長い歴史があります。那覇が地理的に優位な位置にあることは、今も昔も変わることはありません。

2009年に那覇空港を起点に、日本とアジアの主要都市を結ぶ国際物流拠点が築かれました。

那覇を中心とする2千キロの円周域には、東京、ピョンヤン、香港、ソウル、北京、

マニラなど東南アジアの各都市を結ぶ要衝の地点があり、さらに2千500キロ圏内は航空機LCCの一般的な飛行範囲と言われ、那覇は人口20億人の巨大マーケットの中心といえます。

成長著しいアジア太平洋地域の活力を取り込むために必要な交通、輸送、情報通信機能のうえからも、日本とアジア各都市を結ぶ架け橋として好条件な位置にあるのが那覇市なのです。



飛行機型のコンテナ

24 時間対応の沖縄貨物ハブ施設。日中は閑散としているが、深夜 2 時が稼働のピーク時となる



那覇市民をやってみよう

日傘を差しこ

車が必要と言われる沖縄ですが、
那覇でのお出かけは、意外と公共交通機
関が便利なんです。

バスやモノレールでショッピングに
出かけたり、映画やお芝居を観にでかけ
たり。

上演前に、カフェや立ち飲み屋でちょっ
と一杯も気軽にでき、いろんな地域のお
食事もしめちゃう。

慢性的な渋滞は悩みの種ですが、
時間にゆとりをもって動けば、
とても快適。

日常の那覇市民。
やってみませんか。



パレットくもじ前交差点

マチグワーを楽しむ



那覇のマチグワーは、第一牧志公設市場を中心とする中心商店街地域の愛称として、多くの人に親しまれてきました。

そんなマチグワーには、戦後の復興から、急速に発展を遂げた那覇の痕跡を未だ漂う、テーマパークのような、もう一つの那覇の顔を見ることが出来ます。

近年、その雰囲気を好んで、若い事業者が飲食店、雑貨や衣類などのショップを起業するなど、若い世代に人気のスポットになっています。

マチグワーを歩くと、店子さんと買い物客がゆんたく（おしゃべり）する姿や、飲食店をハシゴして、隣り合わせのお客さん同士が世間話を楽しむ姿など、普段の営みに触れることができます。

いまに生きる那覇レトロを日常で体験できるのは、那覇市民ならではかもしれません。



オモシロ店舗が多い浮島通り
昔懐かしい2階建ての木造建築はカメラの被写体にも魅力的





まちなかの自然を楽しむ

市内にも、水辺や緑地を身近に楽しめる場所があります。

水鳥と湿地で有名なラムサール条約に登録された漫湖には、飛来する水鳥やハゼなどが観察できる漫湖水鳥・湿地センターが設置されています。

また、貴重な自然が残る森林公園、末吉の森（末吉公園）には安謝川が流れ

5月から6月にかけて行う、ホタル観察会は季節の風物詩として市民に親しまれています。

ほかにも桜の名所、与儀公園や漫湖公園、新都心公園の緑地、金城ダム公園など、都心の喧騒を逃れ「ホッ」と一息つける、森林浴スポットを探してみたいかがでしょうか。



マングローブ林を抜ける木道からは、カニ類やトビハゼといった生物が観察でき、秋から冬にかけて渡り鳥を間近で観察できる



漫湖は国場川と饒波川の合流地点に形成された河口干潟で、全国でも有数のシギ・チドリ類の渡来地でもあり、多くの水鳥等の生息地として鳥獣保護区に指定されている

ウォーキングを楽しむ



漫湖公園



真嘉比遊水地多目的広場



金城ダム公園



ゴイサギ



カワセミ

マンションやオフィスビルが立ち並ぶ新都心の中にある「沖縄の杜」。米軍基地時代から残された緑地は返還されたあとも、様々な動植物が観察できる貴重な森として、地域で保全活動が行われている。また、組踊「銘苺子」の天女伝説の湧水がある場所としても、神聖な場所とされて地域に親しまれている



那覇市で最も大きい森林公園「末吉公園」



与儀公園



末吉公園の中にある施設「森の家みんな」では、子どもたちが自然・社会体験をとおして、自然と親しみ、自然を大切にする豊かな心を育むことができる

地域の伝統文化に触れる

地域に残された伝統文化は、長い歴史なかで生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。

私たちの歴史や風土などを理解するため、に欠くことのできないものであると同時に、私たちが守り、次世代へ伝えていかなければならないものです。

ここで紹介する那覇市指定の無形民俗文化財は、市のお祭りやイベント、地域の行事やお祭りなどで観ることが出来ます。

伝統文化に触れてみるのも、古の那覇市民を体感できるチャンスです。



宇安里のフェーヌシマ

県内各地に分布するフェーヌシマの芸能は、麻でつくった被り物をかぶり、棒を使って飛び上がるなどの所作や奇声を発し、意味不明の歌詞が歌われるなどが特徴的



宇国場のウズンビエラ

水田の畦の塗り立て作業を踊りにした民俗芸能で、かつては字仲井間、字上間、字識名などにも伝えられていたが、今では国場にのみ残されている。起源は明らかではないが、国王が識名園にお出ましの折、農業奨励のため農民に競争をさせたことにはじまるとされている



首里赤田のみるくウンケー



泊地バーリー

琉球王府時代の行政区分である那覇、久米、泊の3地区対抗で爬龍船競争が行われてきたが、一時期行われなくなった時代があり、1922年、泊の新屋敷（現泊3丁目）の青年たちが、途絶えていた爬龍船競争を復活させたものの人数が足りず長続きせず、それに代わるものとして「地バーリー」が考案された。独特のハーリー歌に魅了されること間違いナシ！

首里汀良町の獅子舞

尚巴志王（1422～39年）に汀志良次村（現在の汀良町）に住民を移住させた時に始まるといわれている。県内の獅子舞がユーモラスであるのに対し、凄みのある勇猛な舞いが首里汀良町の獅子舞の特徴



首里末吉町の獅子舞
寅の御冠船（1866年）終了の奉祝に出演したといわれている。動きが大きく活発で勇猛。演舞前半は親しみやすさを演出し、後半になると顎を引き威嚇する所作が特徴的

首里王府の路次楽
中国から伝来した道中で吹奏する音楽で、「ガク」「ガクブラ」などの名で知られている。1522年中国皇帝即位の使いとし派遣された沢岬親方盛理が帰国の時にもたらしたといわれ、それ以来首里城内での儀式や国王が城外で出られる行列の時などに演奏された



首里のキューナ

キューナは沖縄の古謡のひとつで、沖縄本島およびその周辺諸島に伝承されている。首里の女性たちは、夫や家族の旅の安全を祈り謡うものとして受け継がれてきた。音階やリズムは民謡と異なる点が多く、素朴で独特な響きが魅力的で、祈りを込めた歌詞も興味深く、過酷な船旅の無事を祈る当時の人々の心情に触れることができる



宇大嶺の獅子舞

宇大嶺に伝わった時期は不明。地域の守護神として大切に受け継がれ、旧盆と旧暦8月15日に田原にある自治会公民館やノロの家のほか、字の辻で獅子舞を演じ、幸せと繁栄を祈願する。宇大嶺の獅子頭は古くから目が動くことが特徴



那覇市 ぶんかテンプス館

うちなーんちゅの真髄は芸能に！
県内唯一の伝統芸能常設公演。テンプス館では、沖縄の文化・芸能の発信拠点、沖縄芸能の入口的役割として、毎週木曜日、「琉球舞踊」「うちなー芝居」「組踊」「離島芸能」「落語」「クラシック」「お笑いライブ」など、多彩なプログラムと出演者で、沖縄の幅広い芸能文化を発信☆



琉球舞踊



お笑いライブ

開館時間／9：00～22：00（月曜のみ18：00まで）
電話／098-868-7810 FAX／098-868-7820
那覇市牧志3丁目2番10号

那覇市伝統工芸館



てんぶす那覇2階の伝統工芸館では、琉球紅型、琉球漆器、琉球ガラス、首里織、壺屋焼の5つの体験工房がある。まずは見学、それから自分だけのオリジナル工芸品を作ってみるのもいいね。また、那覇の伝統工芸の歴史的作品が並ぶ展示室や工芸品の販売所もあるので、新作の工芸品はココで要チェック！

開館時間／9：00～18：00（体験は要予約。空きがあれば予約なしでも可）
電話／098-868-7866 FAX／098-868-3005
那覇市牧志3丁目2番10号



壺屋焼物博物館

壺屋焼のことをもっと知りたい！という人はココ、壺屋焼物博物館へ。壺屋のまちを散策しながら立ち寄ってもいいね♪

開館時間／10：00～18：00（入館は17：30まで）
※月曜休館。ただし、祝日にあたる場合は開館
電話／098-862-3761 FAX／098-862-3762
那覇市壺屋1丁目9番32号

那覇市民をやってみよう

いつでもどこでも エンター テイメント

お仕事や家事、育児の合間
にお休みを少しもらって出
かけるのも那覇市民的！
「ワーク・ライフ・バランス」
を大切するもんね♪



平和通の大衆劇場「ひやみかちマチグラー館」はウチナー芝居や民謡、三線体験やカチャーシー、フラメンコ教室まで体験できちゃいます(^_^)b

牧志公設市場衣料部2階
開館時間／10：00～17：00
電話／098-917-2815
那覇市牧志3丁目3番15号2階



那覇市歴史博物館

琉球王朝時代の本物の王冠や王族の衣装など国宝が見られる。
那覇の歴史をわかりやすく展示常設展のほか、那覇のさまざまな面に光を当てた企画展、一般向けの市民講座はディープな那覇を知る絶好のチャンス

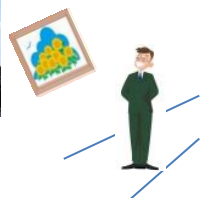
開館時間／10：00～19：00（木曜休館）
電話／098-869-5266 FAX／098-869-5267
那覇市久茂地1丁目1番1号パレットくもじ4階

新都心へGO

中心市街地から新都心へのアクセスはバスでもモノレールでもOK！



沖縄県立博物館・美術館



渡嘉敷島	フェリー 70 分
	高速船 35 分
座間味島・阿嘉島	フェリー 1 時間 30 分～2 時間
	高速船 50 分～70 分



慶良間の海は
透け透けです



慶良間の海には泊港から
ヤンバルへはバスや
車で高速に乗って
とちりも「日帰り」で
自然を満喫♪

那覇市民をやってみよう

行動派の

欲張りさんには

空港にも近いから、飛行機で
東京や大阪へひとつ飛び

ちょっと
そこまで～



豊見城市の瀬長島から望む空港



許田



車 約 2 時間
バス 約 2 時間 30 分～3 時

那覇

高速那覇インター



東京まで 約 2 時間 30 分
大阪 約 1 時間 45 分～50 分
福岡 約 1 時間 40 分

もつと知りたい那覇のこと



昔の那覇は、アジア世界に開かれた
独自性に富んだ都市として存在して
きました。

深い緑と赤い屋根瓦、白い石畳の古
都首里、市場の賑わいが響く港町の商
都那覇、のどかな田園風景が広がる真
和志・小禄。その「まちなみ」は、沖
縄戦で無残に破壊されましたが、戦後
の混乱期の中、急速に復興整備が行わ
れ、時代とともに大きな変貌を遂げ、
今や新たな那覇が誕生しました。

オフィスビルが建ち並ぶ新都心や
久茂地界隈、エキゾチックな雰囲気漂
う中心市街地、城下町の名残ある首
里、そして昔ながらの集落が残る真和
志、小禄地域など、その時々の時間が、
それぞれの地域にたたずんでいます。
個性豊かなまちを地区ごとに紹介
します。みなさんの好きな那覇を探し
てみてください。

Let's live in なは



新都心地区

都市機能にくつろぎと躍動



新都心地区へのお出かけに便利なおもろまち駅。交通広場「おもろまち駅前広場」は、路線バス、タクシーや自家用車からも乗り継ぎが便利

那覇の北側にある新都心は、米軍住宅地として使用され、返還された地区。モノレール沿線と路線バスが走る国道および県道に囲まれ、中北部から那覇への乗り継ぎ可能な、交通拠点として整備されています。地区のほぼ中央には、みどり豊かな総合公園「新都心公園」があり、その周辺に低層、高層住宅地が広がっています。南側のエリアには、行政施設や学校、ハローワーク、県立博物館・美術館などのほか、大型ショッピング施設などが建ち並び、街と自然と人が調和した活気あふれる街です。



毎月第1、第3日曜日の朝9時に新都心公園で行われる「日曜朝市」は、地元の新鮮野菜やフリーマーケットが催され、お財布に優しい人気のイベント



サッカーや野球ができる多目的の広場は人工芝を整備。幼児から高齢者まで利用できる憩いの場としても人気

那覇中心地区

商業・行政施設が集積

那覇の中央部にあり、国際通り、沖縄通り、平和通りを軸とした商業観光地と久茂地と泉崎一帯を中心とした行政・業務地は沖縄県と那覇市の中枢



夕飯前の買い物客でにぎわう商店街

を担う施設が集まる地区です。人口密度は市内で一番高いものの、減少傾向にあります。商業施設と住居が混在した密集市街地ですが、今後は高層住宅化による都市型住宅が進められ、公設市場を中心としたマチグーワ独特の雰囲気、マチと融合する、新たな都市の魅力詰まった、まちづくりを進めています。



築40年前後のコンクリート住宅が立ち並ぶ中心市街地はリノベーションの宝庫。昭和テイストは人気物件なんだとか



日曜のトランジットモール（国際通り）



行政・業務地の中枢を担う久茂地・泉崎一帯



アップダウンが激しい真和志地区は、「乗合タクシー」が便利。バスが多い寄宮交差点とモノレール安里駅まで乗車可能。大人 300 円、子ども 150 円、未就学児は無料



那覇の街並みが一望できる識名の大石公園へは、「乗合タクシー」がおすすめ。急な坂道も楽ちんです♪ 春のゆり祭りや秋のひまわり祭りも気軽に駆けちやう

真和志地区

地形との調和を大切にする



那覇の東側にある真和志地区は、起伏にとんだ丘陵地からなっています。戦前は豊かな水に恵まれたのどかな農村地域でした。戦後、都市基盤が未整備のまま急激に市街化が進んだことから住宅が密集し、識名や上間など昔ながらの集落形態が残されています。地域を取り囲む国道と東西に結ぶ主要道路は、市内を巡回する路線バスや市外広域を結ぶバスが走り、都心部へのアクセスとして多くの利用者に親しまれています。2017年1月には、狭い道路が多い、住宅密集地へのアクセスとして「乗合タクシー」がスタートしました。真和志住民の通勤・通学、お買い物に利用され、暮らしを支える新たな交通手段として仲間入りしました。



「与儀公園」のヒカンザクラは2月から中旬までが見ごろ



真和志地域の交通結節点「寄宮交差点」

小禄地区

戦後、住民自ら集落を建設



那覇軍港が見渡せる「がじゃんぴら公園」



漫湖の広大な湿地は水鳥や自然のすみか

那覇空港の年間発着回数は羽田空港、成田空港、福岡空港に次いで第4位（国土交通省「空港管理状況」2014度）。観光と物流拠点の需要の増加により2019年末に第二滑走路が供用開始される



那覇の空の玄関口、那覇空港がある小禄地区は、戦後、地域の大半が米軍に接収され、残された部分に、住民自ら集落建設や埋め立て事業が進められた地域です。今では返還軍用地をはじめ区画整理事業が進み、新しい街と昔ながらの集落が調和するまちづくりを進めています。南部に結ぶ幹線道路には、業務施設が立ち並び、また、モノレール沿線には商業施設が軒を並べ、大型ショッピングセンターと接続する小禄駅では、多くの家族連れでにぎわっています。

読売ジャイアンツの冬季キャンプ地が開催される奥武山総合運動公園へは、壺川駅と奥武山公園駅から徒歩すぐ。スポーツだけでなく、ラムサール条約に登録された漫湖の水辺と緑地が楽しめる、神社とお宮もあることから、体と心のパワースポットとしても人気です。



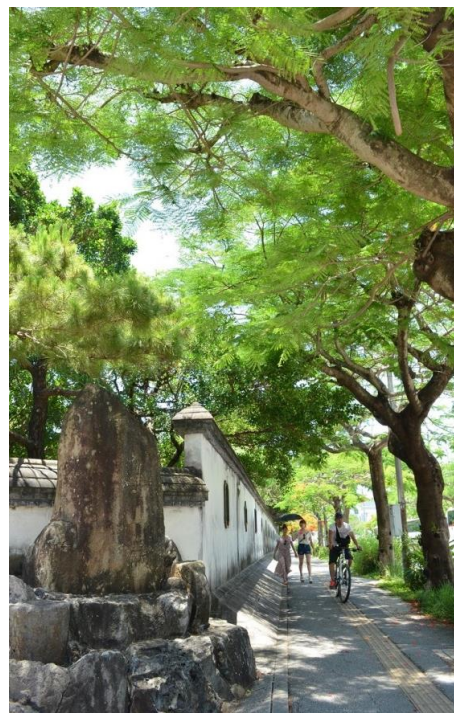
県内唯一のプロ野球ナイター公式戦が開催される野球場「沖縄セルラースタジアム那覇」。内野スタンド席は約15,000席、外野は約15,000、計30,000人が収容可能



那覇西地区

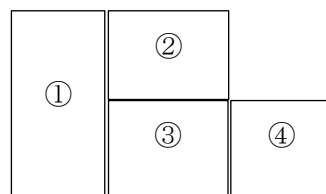
今も昔も国際都市

国際通りから徒歩 15 分で行けるウォーターフロント。その途中の福州園は街の喧騒を離れる絶好の休憩ポイントなんだ！



そのな、中国とゆかりのある地に中国式庭園「福州園」があります。白壁に沿って、さらに西に向かうと、「ウェルカム」と龍柱がクルーズ船をお出迎え。若狭地先には、クルーズ船の寄港が年間200回を超える旅客ターミナルが整備され、今も昔も変わらない国際的な港湾都市の顔がうかがえます。

那覇の西側、海岸部に位置し、「浮島」と呼ばれていた時代から港町として栄えた地区です。今から600年ほど前に福建省から移住してきた人が住みはじめ、久米村(クニンダ)を築き、進貢貿易を支えてきました。



①福州園の白壁が街を涼しげにしてくれる
②福州園の見どころの一つ治亭(やてい)からの眺めはゆったりできる休憩スポット③
④は 2016 年にオープンしたクニンダテラス。琉球や久米村(クニンダ)の歴史文化に触れる展示や地域の交流室のほかカフェレストランも併設されている



4月の第一日曜日の海開きを皮切りに海水浴やビーチパーティを楽しむ人でにぎわう波の上ビーチ。空港へ向かうギリギリの時間まで楽しめちゃうビーチとしても有名なんだ！



海外旅行者の玄関口、若狭パース（那覇新港）。下迫力のクルーズ船を間近で見ながら、旅客ターミナルからの眺めが最高！



旅客ターミナル
若狭パース



首里城の西（イリ）のアザナからの展望



村の共同井戸として使用されていた金城大樋川（カナグスクウフヒージャー）は、「あいかた積み」と呼ばれる石積みで、自然の形を活かして組み合わせた崩れにくい積み方になっている



那覇の三大祭りのひとつ首里王朝祭り首里。毎年11月に開催され40年余りの歴史をもつ。出演者3,000人が演ずる古式行列は祭り最大の目玉として人気を集めている

歴史と文化の香るまち

首里地区



首里地域は、眺望の良い高台にあり、市内で一番標高が高い弁ヶ岳から、末吉の森に連なる山並みを背にした緑豊かな地区です。

首里王府の栄えた首里城を中心に、土族の屋敷や旧集落などの古くからの住宅地が残り、城下町の名残をとどめる風情あるまちなみです。また、数多くの文化遺産や伝統工芸が今に生き、首里城を中心に観光地にふさわしい商業地区と歴史的な環境にふさわしい低層建築物を中心としたまちづくりを進めています。

崎山町馬場通りには、約30本のサガリバナが植栽されている。6月から8月頃の夜には鑑賞会が行われ、甘い香りに誘われ多くの人でにぎわう



首里北地区

良好な郊外住宅地と福祉のまち

那覇市北東部の高台にあり、弁ヶ岳から末吉の森に連なる山並みや市境の緑に包まれた盆地状の地形をなしています。郊外の住宅地として人口が急増し、市街化が進み、また大規模な住宅団地が立地し建て替えも進められています。また、福祉施設が集積していることなどがこの地区の大きな特徴です。

浦添市と西原町と隣接するため、交通量が多いことから、今後も幹線道路の整備が必要とされています。

また、首里駅からモノレールが延長されることで、その沿線と駅周辺には、新しいまちづくりが期待できます。どんなまちなみが誕生するのか、楽しみです。



首里駅から石嶺駅（仮称）に向けて、延長工事の石嶺線。モノレール沿線は、新たなまちづくりの拠点となることが期待される



久場川市営住宅



大名市営住宅

新名所

もうすぐお目見え

モノレール旭橋駅と隣接するバスターミナルは新たな駅前空間の創出を図る（2018年完成予定）



農連市場は2019年春完成予定

那覇のニューフェイス誕生



2018年に完成予定の那覇バスターミナルは、那覇市中心部への玄関口にふさわしい、シンボリックな外観に生まれ変わります。モノレール旭橋駅と接続することで、交通結節点としての機能を活かし、県立図書館やグッジョブセンター、観光支援施設のほか商業施設が入居する予定です。

カッコイでしよ

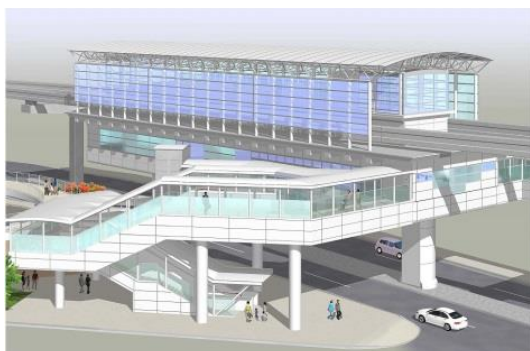


戦

後の混乱期に市場として開設してから63年、市民の食生活を支えてきた農連市場は、「農連市場地区防災街区整備事業」によって、2019年春、新しいまちに生まれ変わります。

マチグワー文化を継承する市場棟をはじめ、保育所やコミュニティ施設など、子育て環境を整えます。また、多子世帯向けの市営住宅のほか、分譲住宅を整備し、まちなか居住を推進します。

沖縄都市モノレール、愛称「ゆいレール」は、首里駅から先の4・1キロメートルの延長工事が進められています。新たな駅舎は、「石嶺駅」、「経塚駅」、「浦添前田駅」、「てだこ浦西駅」の4駅が誕生します。てだこ浦西駅には、沖縄自動車道と接続することから、車を駅周辺に止めてモノレールに乗り換える「パーク&モノライド」が実現し、北部地域からの利便性も高まります。延長路線は、2019年の開業をめざします。



※完成予想図は実際とは異なる場合があります



市政いろいろ。

I was born in 2016



2016 年度

なは市政ダイジェスト

那覇市政施行 95 周年記念式典



2016 年 5 月 20 日は那覇市が誕生して 95 年目を迎えました。市政発展に大きく貢献した 9 人と地域福祉の向上などに貢献された 49 人に 95 周年特別表彰を授与しました。

待機児童の解消へ

認定こども開園



市立幼稚園を保育所と幼稚園の長所を併せ持った「幼保連携型認定こども園」5 園が開園しました。



子どもの居場所づくり 運営団体に補助金

ボランティア団体等が実施する、子ども食堂や学習支援など、子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助金交付事業をスタート。不登校や引きこもり児童の支援も含め、今年度で 23 か所の子どもの居場所づくりができました。

健康づくり 市民会議キックオフ



市民、関係機関・団体、ボランティア、行政が一体となり、市民総がかりで健康づくりに取り組む「健康づくり市民会議」を設置し、長寿県沖縄の復活をめざします。

だれもが尊重し合い 安心して暮らしたい

「性の多様性を尊重する都市・なは」を宣言する那覇市では、同性同士がパートナーシップの関係として共に生きることを認めるパートナーシップ登録制度をスタートしました。

パートナーシップ登録証書



津波避難ビル完成

海岸に近くにあるながら公共施設が少ない松山・若狭地域に津波避難ビルが完成しました。台風時にも避難所として活用でき、また平常時には地域のコミュニティ施設として利用できます。



老朽化した松尾と真和志出張所の統合施設として中央消防署神原出張所が完成。

チャーがんじゅう ポイントで健康づくり

高齢者のみなさんが、介護施設でのボランティア活動をとってポイントを貯める制度。ちょっとしたお小遣いにもなるので、お孫さんへのプレゼントに人気です。





証明書コンビニ交付スタート

マイナンバー制度を活用した、コンビニエンスストアのマルチコピー機で、各種証明書が発行できるようになりました。窓口より手数料が安くなることも魅力のひとつです。

乗合タクシー本格働へ

狭い道路が多い真和志地区で、乗合タクシーの実証実験が 2016 年 8 月にスタートし、17 年 1 月に本格稼働しました。自宅から目的地まで利用でき、高齢者の生活の足として好評です。



世界のウチナーンチュ大会開催

5 年に 1 度開かれる世界のウチナーンチュ大会が 10 月に行われ、26 か国の県系人約 7300 人が参加し、8 か国 340 人の那覇出身者が帰郷しました。



第5次総合計画の作成に向けて



平成 30 年度から平成 39 年度までの計画期間とする第 5 次総合計画の作成がスタートしました。学生によるグループワークを行うほか、公募で集まった市民 29 人が中心となった「なは市民協働大学院」のメンバーが 1 年をとおして市民提案を作成し、城間市長へ手渡しました。2017 年度中に有識者等による審議会への諮問・答申を経て、18 年の 1 月の策定をめざします。

福州市友好都市 35 周年記念



中国・福州市と友好都市を締結して 35 周年の節目を記念して、城間市長をはじめ、翁長市議会議員、久米三十六姓の子孫や首里赤田町自治会など約 50 人の訪問団が同市を訪れました。

保護者の負担軽減のために学校活用を推進

共働き家庭などの就学児童が放課後を安全・安心に過ごすことができる放課後児童クラブや放課後子供教室。学校内で実施することで、家賃面で事業者の負担が軽減されることから、保護者の負担も軽減され、安全面においてもそのニーズは高まっています。現在、36 校中、18 校で実施しており、全国の平均実施率約 20%を上回りました。



違法看板・客引きなど迷惑行為是正へ



2016 年 4 月からスタートした国際通り周辺の指導員による違法な看板や車両の撤去要請。毎日活動した結果、要請をした 442 件の店舗のうち、341 件が是正し、迷惑行為が改善しつつあります。今後も粘り強く活動していきます。

友好都市

福州市(中華人民共和国・福建省)



人口：約 680 万人
面積：約 12,153 平方キロメートル
1981 年 5 月 20 日友好都市提携

14 世紀から中国と琉球王国を結ぶ交流の拠点都市として、今日に至るまで各分野において相互訪問による交流が続いています。福州市にある琉球館や琉球人墓地、那覇市にある「福州園」は相互の緊密な交流の歴史を物語っています。

友好都市

川崎市(神奈川県)



人口：約 146 万人
面積：約 144 平方キロメートル
1996 年 5 月 20 日友好都市提携

川崎市との交流の歴史は大正時代に沖縄から川崎の紡績工場に多くの人が就職したことに始まり戦前から多くの県出身者が各方面で活躍しています。



姉妹都市

日南市(宮崎県)

姉妹都市

ホノルル市(アメリカ合衆国・ハワイ州)

姉妹都市

サンビセンテ市(ブラジル連邦共和国・サンパウロ州)



人口：約 5 万 4 千人
面積：約 536 平方メートル
1969 年 4 月 24 日姉妹都市提携

古くから油津港と那覇港を結ぶ交易を通して、経済・文化の交流が行われてきました。また戦時中は那覇市民をはじめ多くの県民が疎開で日南市のみなさまにお世話になり、市民相互の親善が深められました。



人口：約 98 万人
面積：約 1,556 平方キロメートル
1961 年 1 月 10 日姉妹都市提携

戦前から移民などを通じて活発な交流が行われてきました。特に沖縄の戦後復興期には、ハワイの県系人による物心両面にわたる支援を受け、現在も学術・文化・経済などの幅広い交流が行われています。



人口：約 30 万人
面積：約 146 平方キロメートル
1978 年 10 月 23 日姉妹都市提携

姉妹都市締結日：1978 年 10 月 23 日県出身 2 世の伊波興裕氏がサンビセンテ市長の頃に姉妹都市を締結。これまで両市職員の交換派遣交流などの歴史があります。

4月

波の上ビーチ海開き
壺屋でシーサーの日
沖縄国際映画祭



6月

6月23日は、沖縄戦の戦没者を追悼し、平和への想いを新たにす慰霊の日

7月

7月8日（なは）の日。
市民参加のさまざまなイベントを開催。市民によるまちおこしを考える日

10月

那覇大綱挽まつり



琉球王朝時代から慶賀行事として行われ、昭和46年に復活した那覇大綱挽は、ギネス認定を受けた世界最大の藁綱。その大綱が国道58号の久茂地交差点を中心に、旗頭が舞う中、万余の人々が一体となって綱を引き合う様は圧巻そのもの



5月

那覇ハーリー



「ハーリー」は、約600年前に中国から伝わり、航海の安全と繁栄を祈願するものとして、県内各地で盛んに行われています。



8月

一万人のエイサー踊り隊



9月

なは青年際
とまりんフェスタ

11月

琉球王朝祭り首里
ひやみかちなはウォーク



琉球王朝祭り首里

かつて琉球王朝の都として栄えた古都・首里。中国からの使者・冊封使（さっぽうし）などの行列を再現した古式行列が行われ、首里のまちは琉球王朝時代の文化一식에染まります。

12月

NAHAマラソン



太陽と海とジョガーの祭典「NAHAマラソン」は、国内外からの参加者30,000人が走る国内最大規模を誇る市民マラソン。主役はジョガーだけでなく沿道の熱い声援をおくるボランティアにも注目です！



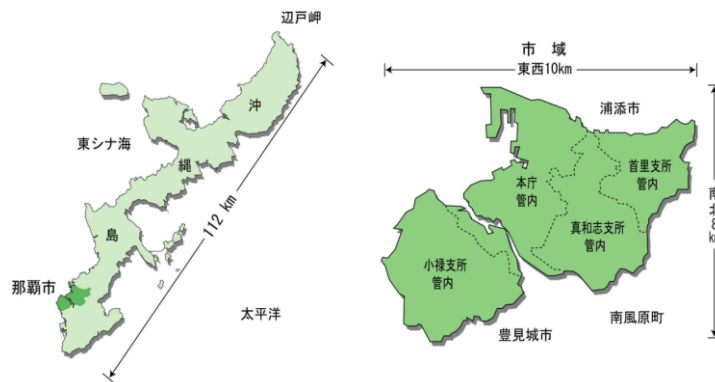
2月

読売巨人軍春季キャンプ
なはさくらまつり



位置と市域

那覇市の位置 北緯 26° 10'34"~14'46"
 東経 127° 38'12"~44'19" (市の位置)
 那覇市面積 39.57 km² (推計)



市のシンボル

【那覇市歌】



- あけぼの清き 南の港にぎわう百舟や
 まちはいらかの 数増して 弥栄えゆく わが那覇市
- みどりも深き 奥武山 めぐる入り江の 水なごみ
 清き心に 諸人の むつみしたしむ わが那覇市
- ゆかりも古き 波上 あおぐ誠を 捧げもて
 理想の自治に 進まん 希望かがやく わが那覇市

那覇市歌の制定については、戦前の資料が戦争で失われたため、正確なことは分かっていません。しかし、当時の新聞の記録や作詞家の安藤氏の当時の日記などから、制定されたのは、1929年（昭和4年）頃と推定されます。現在、市歌は市のさまざまな式典や行事などで演奏されています。

【市章】



ナハの字を円形に図案化し、無限に膨張発展する那覇市の姿を表しています。市制が施行された大正10年（1921年）に制定されました。

【市木 フクギ】



【市花 ブーゲンビレア】



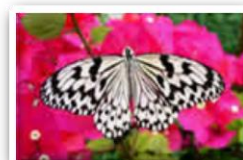
【市花木 ホウオウボク】



【市魚 マグロ】



【市蝶 オオゴマダラ】



指定文化財一覧

【那覇市内指定等文化財件数一覧】

	有形文化財（83 件）											無形文化財 （12 件）				民俗文化財 （16 件）			記念物 （52 件）			選 定 保 存 技 術	登 録 有 形 文 化 財	国 県 市 別 計	
	建造物（14 件）					美術工芸品（68 件）						芸 能	工 芸 技 術	空 手・ 古武 術	選 択	有 形	無 形	選 択	史 跡	名勝・ 特別名 勝	天然 記念物				
	寺 院 建 築	城 郭 建 築	橋 梁	住 宅	そ の 他	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 蹟	典 籍	古 文 書														歴 史 資 料
国			2	1	4			2		2	1	3	3	2		1			2	5	4	2	2	6	42
県	1	1	3		1	7	7	32	4	2	3	3	1	3	1				1	8	1	1			80
市					1			1			2			1			3	10		28	2	1			49
計	1	1	5	1	6	7	7	35	4	4	6	6	4	6	1	1	3	10	3	41	7	4	2	6	171

【那覇市所在世界遺産】

条約資産別	国内指定区分	名 称	登録年月日	所在地・所有者等
記念工作物	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	園比屋武御嶽石門	平成 12 年 12 月 2 日	首里真和志町 1－7 那覇市
	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	玉陵	平成 12 年 12 月 2 日	首里金城町 1－3、3－1 沖縄県、那覇市
遺 跡	記念物（史跡）	首里城跡	平成 12 年 12 月 2 日	首里当蔵町 3－1、1－1 国、沖縄県
	記念物（特別名勝）	識名園	平成 12 年 12 月 2 日	字真地 421 の 1 ほか 那覇市外

那覇市のあゆみ

1922年（大正11年）	・那覇区・首里区に市制施行（5月20日）初代市長当間重慎氏就任 ・10月1日から5日間、市制・県庁舎落成の祝賀行事行う（大綱曳と行列）
1927年（大正11年）	・県鉄道嘉手納線開通
1927年（昭和2年）	・那覇商工会議所設立 ・首里市に公設質舗設置
1928年（昭和3年）	・首里城本殿復旧起工（国宝指定）、昭和6年竣工
1929年（昭和4年）	・普通選挙法による初の市会議員選挙 ・首里市職業紹介所開設
1930年（昭和5年）	・那覇市立職業紹介所開設 ・那覇市に公設質舗開設
1931年（昭和6年）	・那覇市に水道敷設
1932年（昭和7年）	・「歴代宝案」旧久米村で発見
1933年（昭和8年）	・那覇～首里間の路面電車廃止 ・那覇市上水道完成給水開始
1934年（昭和9年）	・牧志街道（新県道＝国際通りの前身）開通
1935年（昭和10年）	・首里市営バス那覇～首里間運行開始
1936年（昭和11年）	・末吉宮国宝指定 ・首里図書館開館
1937年（昭和12年）	・守礼門修復
1938年（昭和13年）	・沖宮、弁ヶ嶽石門国宝指定 ・武徳殿竣工
1941年（昭和16年）	・日米戦争宣戦布告（12月8日）
1944年（昭和19年）	・10月10日米機動部隊沖縄大空襲（那覇90%焼失、市民5万人焼出され国頭へ避難）
1945年（昭和20年）	・那覇市役所、安里八幡宮近くの民家に移転 ・米軍沖縄本島へ上陸開始 ・3か月余にわたる沖縄戦 ・日本政府ボツダム宣言受諾、無条件降伏 ・陶器と瓦工業復興の目的で男子先遣隊103人が壺屋町に入市（11月10日）
1946年（昭和21年）	・糸満地区管内として壺屋区役所設置
1947年（昭和22年）	・市庁舎、牧志公設市場敷地に移転 ・中央図書館設置 ・奥武山を中心とするペリー、壺川、楚辺、松尾一帯に那覇とは別の行政区みなと村を設置
1948年（昭和23年）	・市庁舎、開南に移転
1949年（昭和24年）	・那覇市場市営となる ・教育委員会制度が施行
1950年（昭和25年）	・那覇市社会事業援護会創立 ・みなと村、那覇市に合併 ・米軍が天久、上之屋一帯（現新都心地区）の立退を命令
1951年（昭和26年）	・救済家屋「愛生寮」を設置 ・米国援助資金500万ドルで港湾工事施行
1952年（昭和27年）	・琉球政府創立 ・那覇市社会福祉協議会設立 ・那覇商事港湾事務所が設置される
1953年（昭和28年）	・大那覇市建設諮詢委員会 ・那覇市議会事務局誕生 ・市庁舎、天妃小学校に移転 ・国際通り起工・那覇市旗がお披露目 ・奄美群島祖国復帰
1954年（昭和29年）	・那覇市消防隊創立 ・首里市、小禄市を合併
1957年（昭和32年）	・真和志市を那覇市に合併
1959年（昭和34年）	・行政区画委員会で沖縄市改称決まるが、市議会で否決 ・生誕の像除幕式
1960年（昭和35年）	・ホノルル市と姉妹都市締結 ・兵庫県から「やまびこの鐘」寄贈 ・自治会制度
1961年（昭和36年）	・「那覇市民体育館」完成
1964年（昭和39年）	・市民憲章制定を宣言、推進協議会設立 ・東京オリンピック聖火那覇へ ・初の奨学資金給付 ・那覇市青少年健全育成協議会発足
1965年（昭和40年）	・那覇市新庁舎落成
1966年（昭和41年）	・首里支所庁舎完成
1969年（昭和44年）	・水道局総合庁舎完成・日南市と姉妹都市の提携・市職員採用を試験制度に
1970年（昭和45年）	・那覇市民会館オープン
1971年（昭和46年）	・市制施行50周年記念切手発行、那覇まつりを開催（大綱挽を復活）・沖縄返還協定調印（6月17日）
1972年（昭和47年）	・那覇市東京事務所開設 ・祖国復帰（5月15日）・那覇教育区教育委員会が那覇市教育委員会に改編
1973年（昭和48年）	・蒸気機関車D51 寄贈（与儀公園内）
1974年（昭和49年）	・小禄で不発弾爆発事故が発生 ・小禄支所新庁舎が完成
1975年（昭和50年）	・那覇音頭発表
1978年（昭和53年）	・サン・ピセンテ市と姉妹都市締結
1983年（昭和58年）	・市木、市花木、市花を制定
1985年（昭和60年）	・第1回NAHAマラソン開催
1988年（昭和63年）	・那覇市情報公開制度スタート
1991年（平成3年）	・「パレットくもじ」グランドオープン
1992年（平成4年）	・中国式庭園・福州園開園
1995年（平成7年）	・「那覇市総合福祉センター」オープン ・那覇大綱挽ギネス認定・国指定名勝「識名園」一般公開
1996年（平成8年）	・恒久平和のモニュメント「なぐやけ」建立 ・尚家継承美術工芸品（87点）の寄贈 ・川崎市と友好都市協定を締結

1997年（平成9年）	・那覇市のインターネットホームページ開設 ・泡盛百年古酒熟成化事業壺入れ式
1996年（平成10年）	・「壺屋焼物博物館」オープン ・ふれあいプラザ安謝落成
1997年（平成11年）	・那覇市立病院病院急病センター開設 ・漫湖がラムサール条約登録 ・新那覇空港ターミナルビルオープン
2000年（平成12年）	・NPO活動支援センター開設 ・九州沖縄サミット開催 ・「首里城跡」「識名園」「園比屋武御嶽石門」「玉陵」がユネスコ世界遺産登録
2001年（平成13年）	・戸籍事務のコンピューター化 ・NAHA マラソンのスタートに万国津梁之鐘の使用開始 ・ゴルバチョフ氏記念講演
2002年（平成14年）	・尚家継承文化遺産が国指定重要文化財指定 ・公営斎場「いなんせ」供用開始 ・「家庭ごみ有料化」開始 ・市民課、国民健康保険課窓口時間延長スタート ・本庁市民課がサービスに関する国際規格ISO9001 の認証取得 ・「ゆんたふいんたく跳びだせ！市長室」開始
2003年（平成15年）	・リースバック方式による新都心銘苅庁舎が完成 ・「那覇市IT創造館」オープン・県内自治体では初の「環境ISO14001」認証取得 ・沖縄都市モノレール（ゆいレール）開業
2004年（平成16年）	・ISO9001 認証範囲が市民活動課および真和志支所、首里支所、小禄支所へ拡大認定 ・「てんぶす那覇」開館
2005年（平成17年）	・市長リレー出前トークスタート・公園ボランティア協定スタート ・財団法人那覇市育英会設立 ・旧第二牧志公設市場に「にぎわい広場」オープン
2006年（平成18年）	・ごみ処理施設「那覇・南風原クリーンセンター」稼働 ・「琉球国王尚家関係資料」が国宝に指定 ・歴史博物館開館
2007年（平成19年）	・「那覇市路上喫煙防止条例」施行 ・国際通り「トランジットモール」本格実施 ・読売巨人軍「那覇キャンプ」の誘致活動を開始 ・「環境の杜ふれあい」オープン ・障害者就労支援センター「さわやか」開所
2008年（平成20年）	・市立病院が地方独立行政法人へ移行 ・三児童館に「つどいの広場」開所 ・ブラジル移民100周年及び那覇市サンビセンテ市姉妹都市提携30周年記念事業による南米訪問 ・第1期那覇市協働大使委嘱 ・臨港道路那覇1号線開通
2009年（平成21年）	・国際規格ISO9001の認証範囲を市長事務部局全体へ拡大 ・路上喫煙者に罰則適用 ・静岡市交流連携等に関する協定締結 ・市役所本庁舎建て替えのため、おもろまち仮庁舎へ一時移転 ・金沢市交流連携等に関する協定締結
2010年（平成22年）	・那覇市英奥武山野球場落成（沖縄セルラースタジアム那覇、沖縄セルラーパーク那覇、沖縄セルラーパーク那覇にネーミング） ・市魚「マグロ」制定 ・沖縄県人移民110周年及び那覇市ホノルル市姉妹都市提携50周年記念事業によるハワイ訪問 ・真地久茂地線・国道329号線南風原バイパス開通 ・首里支所新庁舎開所
2011年（平成23年）	・読売巨人軍春季キャンプ／初 ・エコマール那覇リサイクル棟供用開始 ・市制施行90周年記念式典 ・那覇市協働大使活動支援センター開所 ・さいおんスクエアまちびらき ・海拔表示シート掲示（1,000箇所） ・壺屋巨大シーサー設置
2012年（平成24年）	・「鏡水ふれあい会館」完成 ・「ハイサイ・ハイタイ運動」取組開始 ・天久小学校・あめくみらい幼稚園開校 ・市民課窓口業務一部委託開始 ・旧最終処分場跡に「ちゅらティータ スポーツ広場」オープン
2013年（平成25年）	・地上12階建市役所新庁舎開所（銘苅及び教育委員会庁舎統合） ・「中核市 那覇」誕生 ・「那覇市保健所」開所 ・那覇港港湾施設（愛称「うみそら公園」）供用開始 ・市内観光周遊バス「ゆいゆい号」運行
2014年（平成26年）	・市蝶「オオゴマダラ」制定 ・市民共同墓落成 ・那覇小学校開校 ・てんぶす那覇に「観光案内所」開所 ・サンビセンテ市長国際親善名誉市民顕彰授与 ・ひやみかちなはウォーク初開催 ・第32代那覇市長に城間幹子氏就任（11月18日）
2015年（平成27年）	・那覇市民協働プラザ開所 ・レインボーなは宣言 ・認定こども園キックオフ
2016年（平成28年）	・若狭緑地に巨大龍柱設置 ・那覇中央消防署神原出張所落成 ・那覇市津波避難ビル落成 ・クニダテラス オープン ・パートナーシップ登録制度スタート
2017年（平成29年）	・真和志地区で乗合タクシー稼働



首里金城村屋（カナグシクムラヤー）

統計・資料

データで見る那覇

—Index—

市民の生活	1
那覇市の日	2
統計から見た那覇市	3
国勢調査人口の推移	5
自然動態	5
人口の年齢別構造	6
人口ピラミッド	6
都市計画地域	7
気象	7
経済センサス	8
那覇空港の旅客数と貨物量	8
消費物価指数	9
一世帯あたり1ヶ月間の消費支出割合	9
自動車保有台数	10
生活保護の状況	10
月別火災件数	11
救急活動状況	11
入域観光客数及び観光収入の推移	12
航路別県外観光客数の構成比	12
一般会計	13
市税収入状況	13
産業中分類別商店数・従業員者数	14

《市民の生活 Life of Citizens》

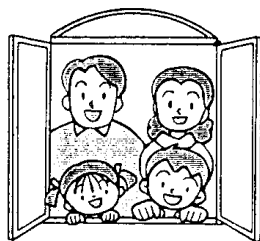
人口密度

(1km²あたり)



8,192人

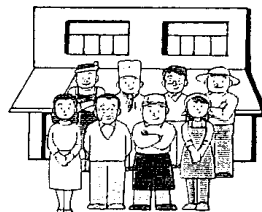
1世帯あたりの人員



2.2人

小売業の年間販売額

(平成26年7月1日現在)



11,426万円

公園面積

(市民1人あたり)
(平成27年4月1日現在)



6.08㎡

下水道普及率

(平成26年度)



97.74%

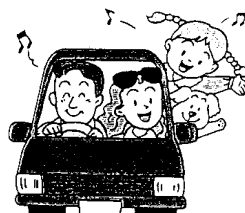
1ヶ月間平均消費支出額
1世帯あたり(二人以上の世帯)



225,867円

登録・届出保有自動車数

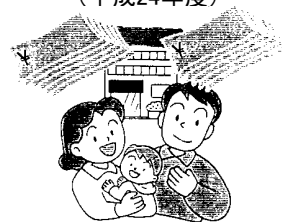
(乗用自動車1世帯あたり)
(平成26年度)



0.96台

市民所得

(市民1人あたり)
(平成24年度)



2,321千円

医療施設数

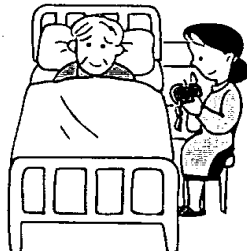
(病院・診療所・歯科診療所)



480ヶ所

(市民675人に1ヶ所)

病床数



3,784床

(市民86人に1床)

教員1人あたり

(平成27年5月1日現在)



小学生→**19.3人**

中学生→**15.6人**

進学率

(平成27年3月31日現在)



高校進学率
→**97.8%**

大学進学率
→**50.9%**

消防職員1人あたり

(平成27年4月1日現在)



市民1,201人

市職員1人あたり

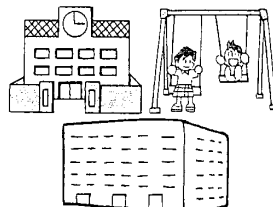
(平成27年4月1日現在)



市民158人

平成26年度歳出決算額

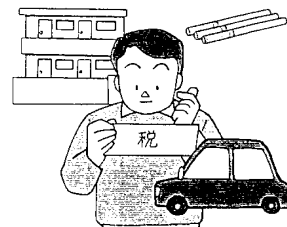
(一般会計)
(市民1人あたり)



417,852円

平成26年度 市税

(市民1人あたり)



136,558円

注:市民の生活は特にことわりのないものは、平成26年(1月～12月)の値です。

「人口密度」「1世帯あたりの人員」は、平成27年12月31日現在の住民基本台帳人口による数値である。

「医療施設数」「病床数」は、平成26年10月1日現在。人口は、平成27年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

「消防職員数」「市職員数」は、平成27年4月1日現在。人口は、平成27年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

《那覇市の一日 A day of Naha City》

出 産

(外国人を含む)



9.1人

死 亡

(外国人を含む)



7.2人

結 婚

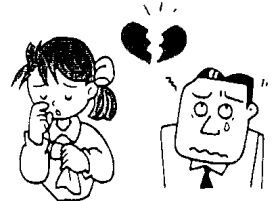
(外国人を含まない)



5.9件

離 婚

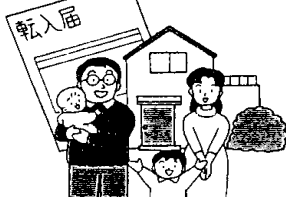
(外国人を含まない)



2.4件

転 入

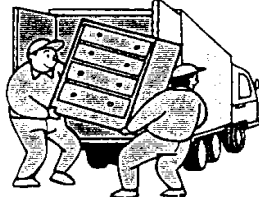
(外国人を含む)



48.6人

転 出

(外国人を含む)



47.9人

電 気

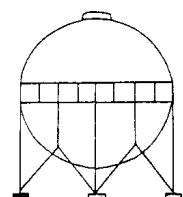
(平成26年度)



4,395千KWH

都市ガス

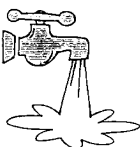
(平成26年度)



50.7千m³

水道供給量1人あたり

(平成26年度)



326ℓ

交通法令違反 取締り状況

(那覇署管内)



38.8件

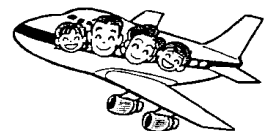
市立病院 夜間救急受診状況

(平成26年度)



109.2人

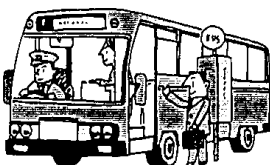
那覇空港乗降客



乗客 **23,666人**
降客 **23,665人**

市内バス利用者

(平成26年度)



13,994人

ご み

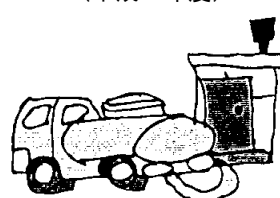
(平成26年度)



273ト

し 尿

(平成26年度)



15,692ℓ

火 災



0.24件

交 通 事 故



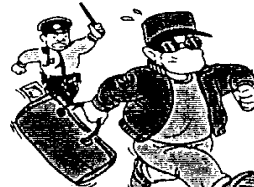
4.8件

救急車出動数



48件

刑 法 犯 罪



認知件数→ **8.1件**
検挙件数→ **3.3件**

市立図書館貸出冊数

(平成26年度)



3,907冊

注:那覇市の一日は、年間・年度間を365日で割ったものです。特にことわりのないものは、平成26年(1月～12月)の値です。
「図書館貸出冊数」は、中央図書館開館日数(273日)で算出しています。

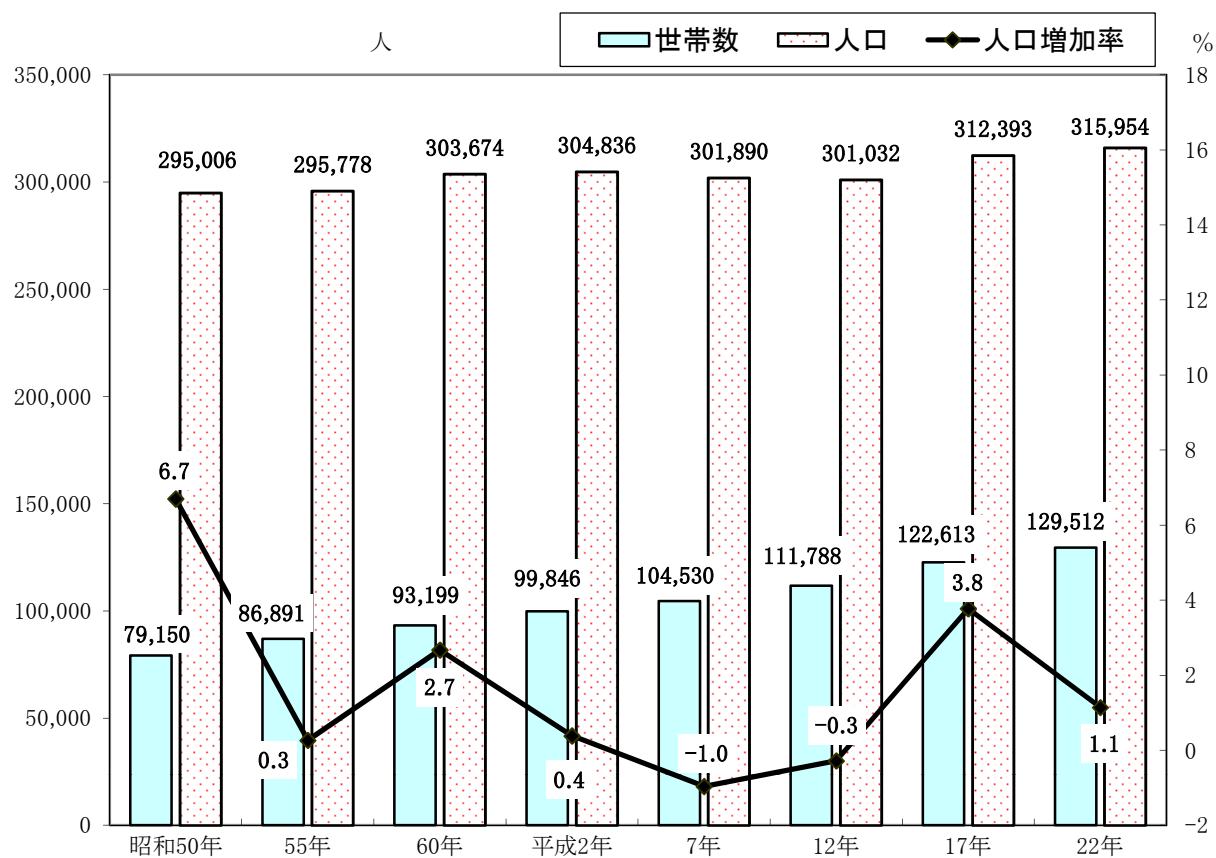
≪統計から見た那覇市≫

項 目		数	期 間・時 点	備 考
市域面積		39.57 ㎢	平成27年10月1日現在	豊見城市と按分した推計面積
国 勢 調 査	世帯数	129,512 世帯	平成22年10月1日現在	平成22年国勢調査
	人口	315,954 人		平成22年国勢調査推計の面積(39.24㎢)
	人口密度	8,051.8 人		平成22年国勢調査
	昼間人口	344,774 人		
	常住人口	315,954 人		
	人口集中地区面積	38.38 ㎢		
	人口集中地区人口	314,951 人		
	第1次産業従業者数	879 人		
	第2次産業従業者数	12,971 人		
	第3次産業従業者数	100,762 人		
住 民 基 本 台 帳	総数	147,206 世帯 324,169 人	平成27年12月31日現在	
	本庁	49,547 世帯 100,088 人		
	真和志支所	48,599 世帯 106,463 人		
	首里支所	23,500 世帯 57,701 人		
	小禄支所	25,562 世帯 59,917 人		
	外国人(世帯・人口)	2,442 世帯 3,616 人		
	転入者数	17,757 人		
転出者数		17,493 人	平成27年(年間)	
出生数		3,338 人		
死亡数		2,617 人		
婚姻届件数		2,166 件		
離婚届件数		886 件	平成27年(年間)	外国人を含まない。
事業所数		17,995 事業所	平成26年7月1日現在	経済センサス-基礎調査
従業者数		156,511 人	平成26年12月31日現在	工業統計調査 (従業者4人以上の事業所)
事業所数(製造業)		106 事業所		
従業者数(製造業)		1,756 人		
製造品出荷額等		2,873,472 万円		
農家数		119 戸	平成27年2月1日現在	2015年農林業センサス
農家世帯員数(販売農家)		292 人		
経営耕地面積		5,561 a		
商店数		3,041 店		
内 訳	卸売業	693 店	平成26年7月1日現在	商業統計調査
	小売業	2,348 店		
従業者数		21,354 人		
内 訳	卸売業	6,173 人		
	小売業	15,181 人		
年間商品販売額		76,913,717 万円		
内 訳	卸売業	50,085,273 万円		
	小売業	26,828,444 万円		
住宅総数(居住世帯なしを除く)		131,640 戸	平成25年10月1日現在	住宅・土地統計調査
内 訳	持ち家	50,670 戸		
	借家	78,300 戸		
建物総数		54,837 棟	平成27年1月1日現在	固定資産概要調書

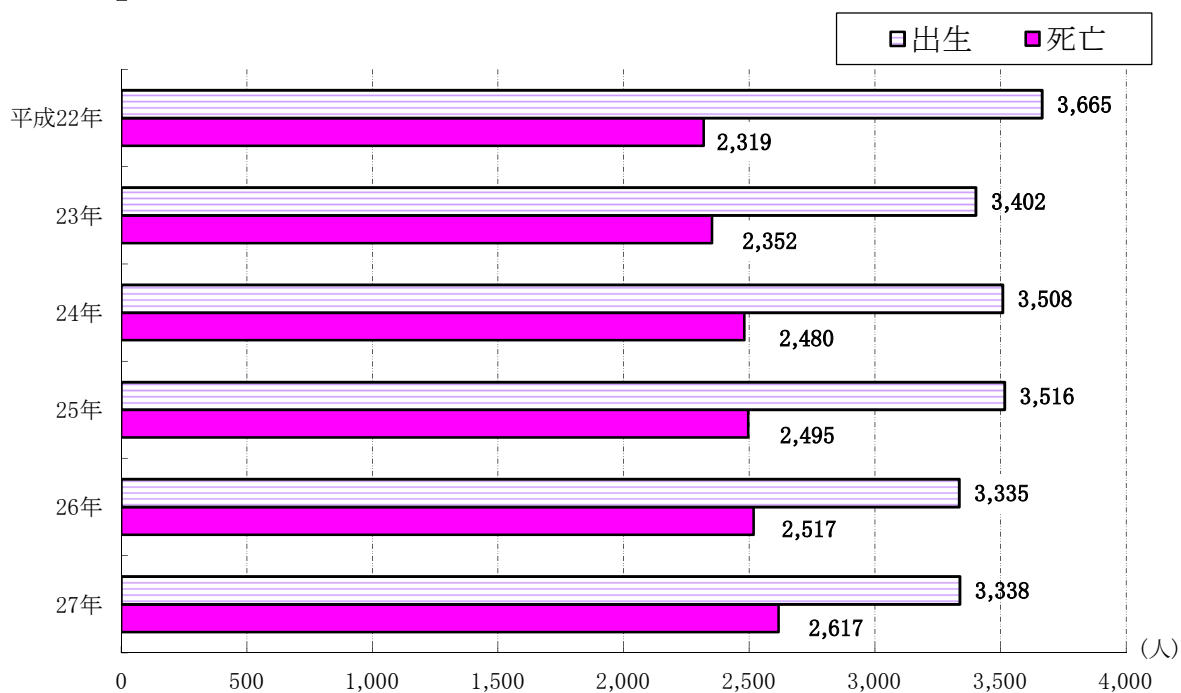
項 目	数	期 間・時 点	備 考
都市公園数	173 園	平成27年4月1日現在	
都市公園面積	196.95 ha		
市営住宅管理戸数	5,704 戸	平成26年3月31日現在	
電灯使用電力量	692,043,063 KWH	平成26年度(年度間)	
電力使用電力量	912,082,963 KWH		
都市ガス需要量	18,507,840 m³	平成 26 年 (年 間)	
水道配水量	38,613,673 m³	平成26年度(年度間)	
下水道普及率(人口)	97.74%	平成 26 年度末現在	
1人あたり市民所得	2,330 千円	平成 24 年 度	
消費者物価指数(総合)	102.6	平成 26 年 平 均	平成22年=100
消費者物価指数(食料)	103.3		
消費者物価指数(住居)	100.2		
消費者物価指数(光熱・水道)	109.1		
1世帯あたり消費支出(月平均)	225,867 円	平成 26 年 平 均 (二人以上の農林漁家世帯を含む)	家計調査(二人以上の世帯)
1世帯あたり消費支出(月平均)	256,187 円		家計調査(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)
国民年金被保険者数	79,826 人	平成27年3月31日現在	
国民健康保険加入者世帯数	55,022 世帯	平成 26 年 度 平 均	
国民健康保険被保険者数	99,716 人		
病院数	19 カ所	平成26年10月1日現在	
診療所数	274 カ所		
歯科診療所数	187 カ所		
病床数	3,784 床		
公害苦情件数	133 件	平成26年度(年度間)	
ごみ収集量	99,758 トン		
し尿処理量	5,727 KL		
交通事故件数	1,738 件	平成 26 年 (年 間)	
救急車出動件数	17,701 回		
火災件数	87 件		
NTT加入件数	49,320 件	平成26年3月31日現在	
保育所数・園児数	73 園 7,636人	平成27年4月1日現在	
幼稚園数・園児数	総数 42 園／3,402 人 市立 36 園／2,690 人 私立 6 園／ 712 人	平成27年5月1日現在	(※若夏分校を含む)
小学校数・児童数	36 校 19,930 人		
中学校数・生徒数	総数 20 校／10,603 人 市立 18 校※／9,320 人 私立 2 校 ／1,283 人		
高校進学率	97.8 %	平成28年3月31日現在	
大学・短大進学率	50.9 %		
市立図書館蔵書冊数	640,363 冊	平成27年3月31日現在	
選挙人名簿登録者数	252,504 人	平成 27 年 9 月 2 日 現在	
歳入決算額(一般会計)	139,934,900 千円	平成 26 年 度	
歳出決算額(一般会計)	135,454,794 千円		
歳入決算額(特別会計)	70,326,335 千円		
歳出決算額(特別会計)	73,814,450 千円		
市税収入済額	44,267,793 千円		
国民健康保険税調定額	5,179,129 千円		
市職員数	2,323 人	平成27年4月1日現在	

《グラフで見る那覇市》

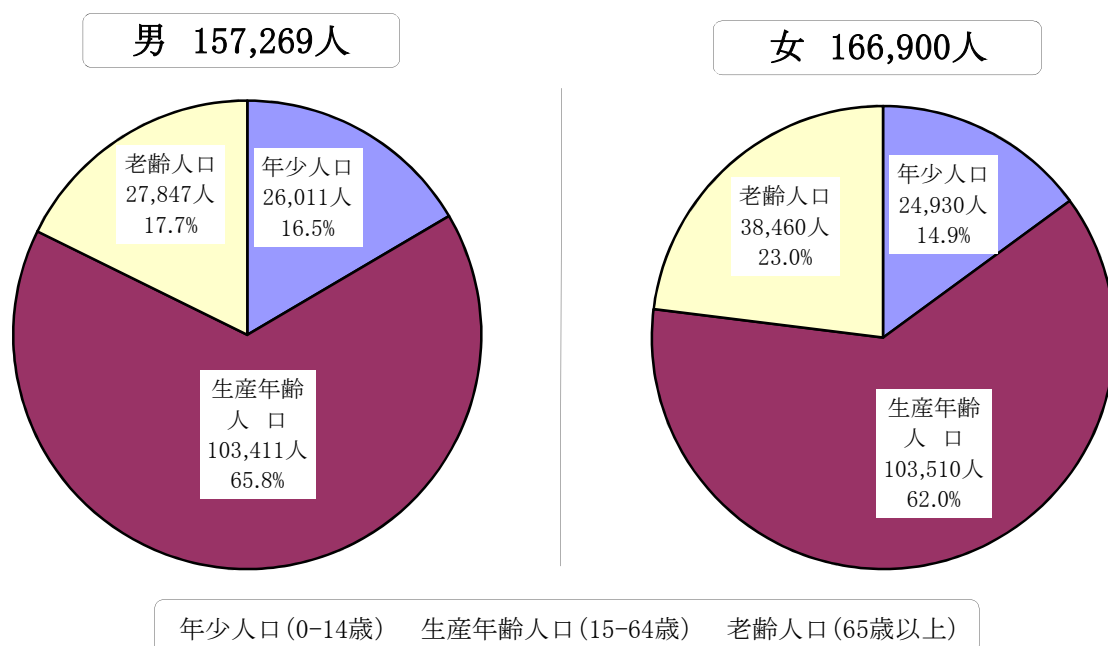
【国勢調査人口の推移】



【自然動態】(外国人を含む)

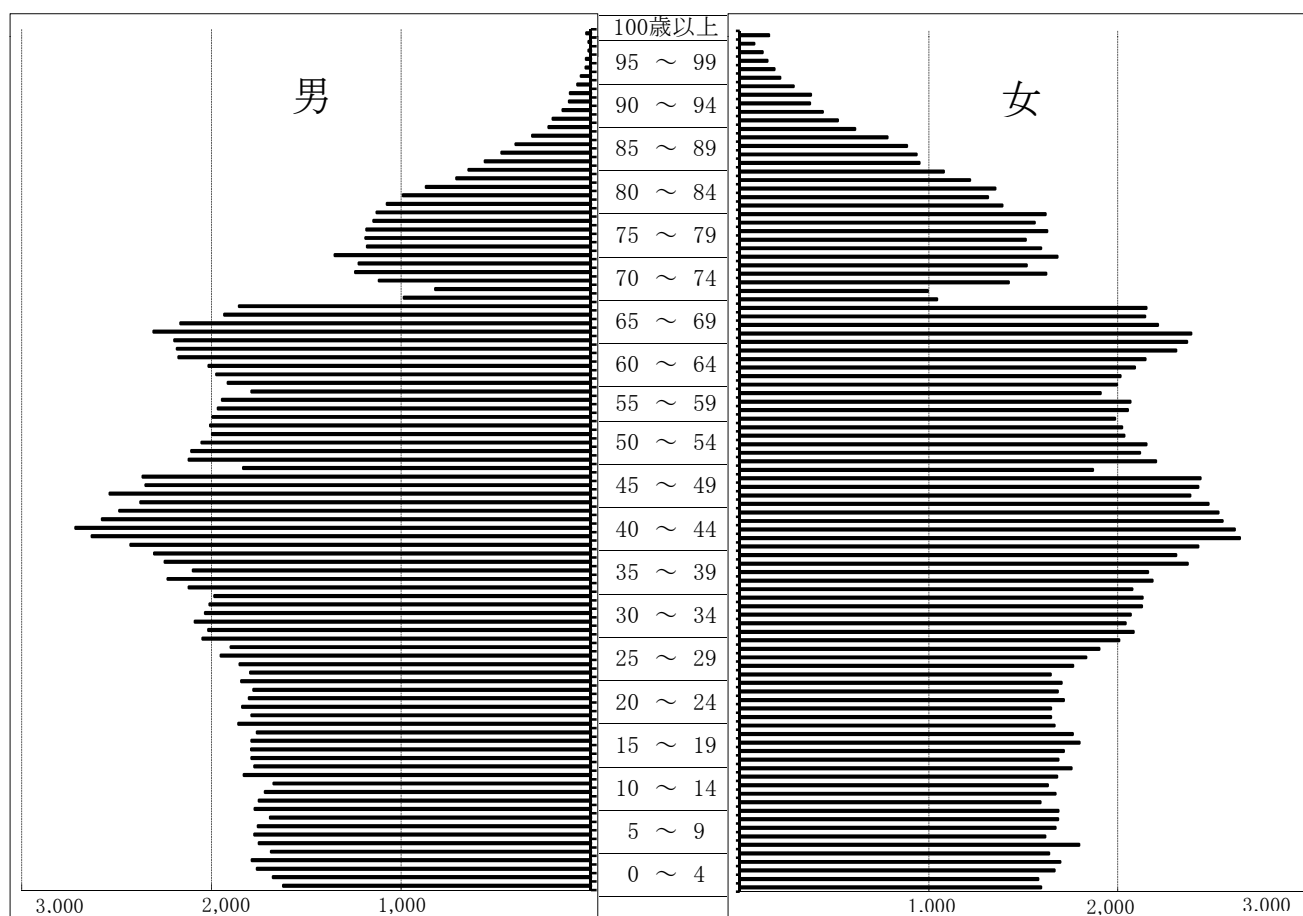


【人口の年齢別構造】(平成27年12月31日現在)

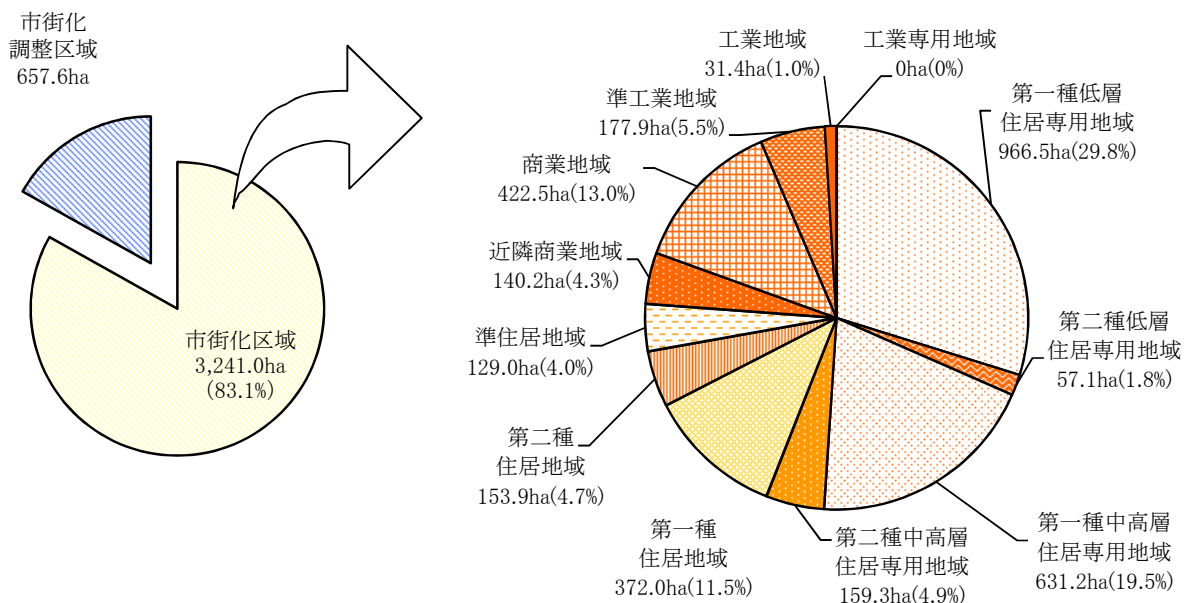


【人口ピラミッド】(平成27年12月31日現在)

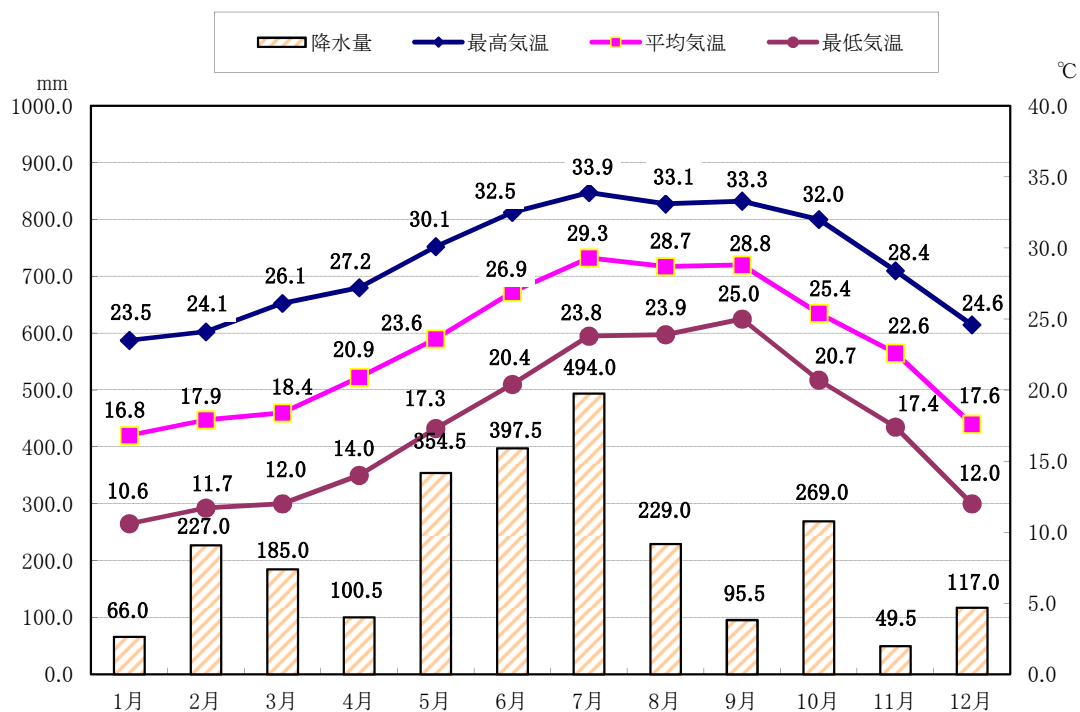
単位: 人



【都市計画地域】(平成27年11月現在)



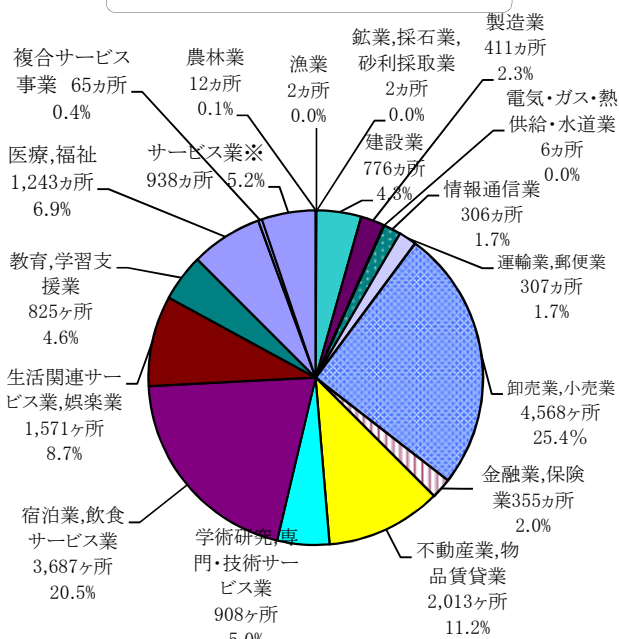
【気象】(平成26年)



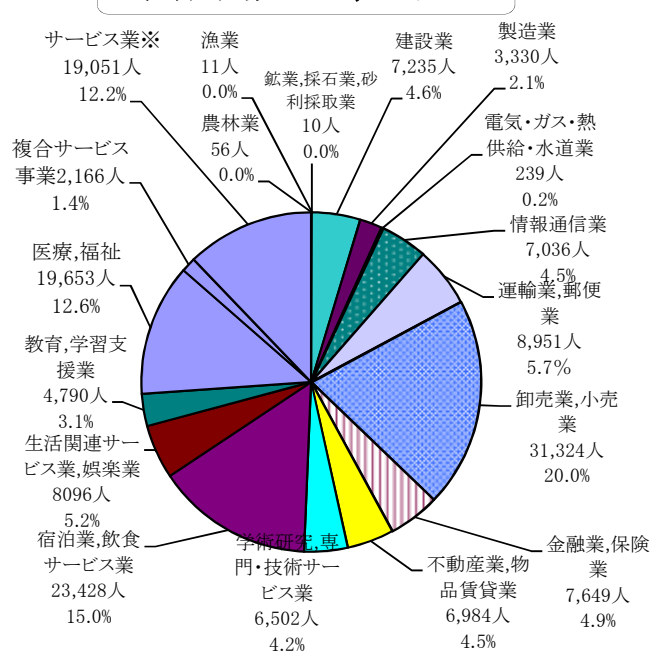
【経済センサス-基礎調査】(平成26年7月1日現在)

※サービス業は他に分類されないものである。

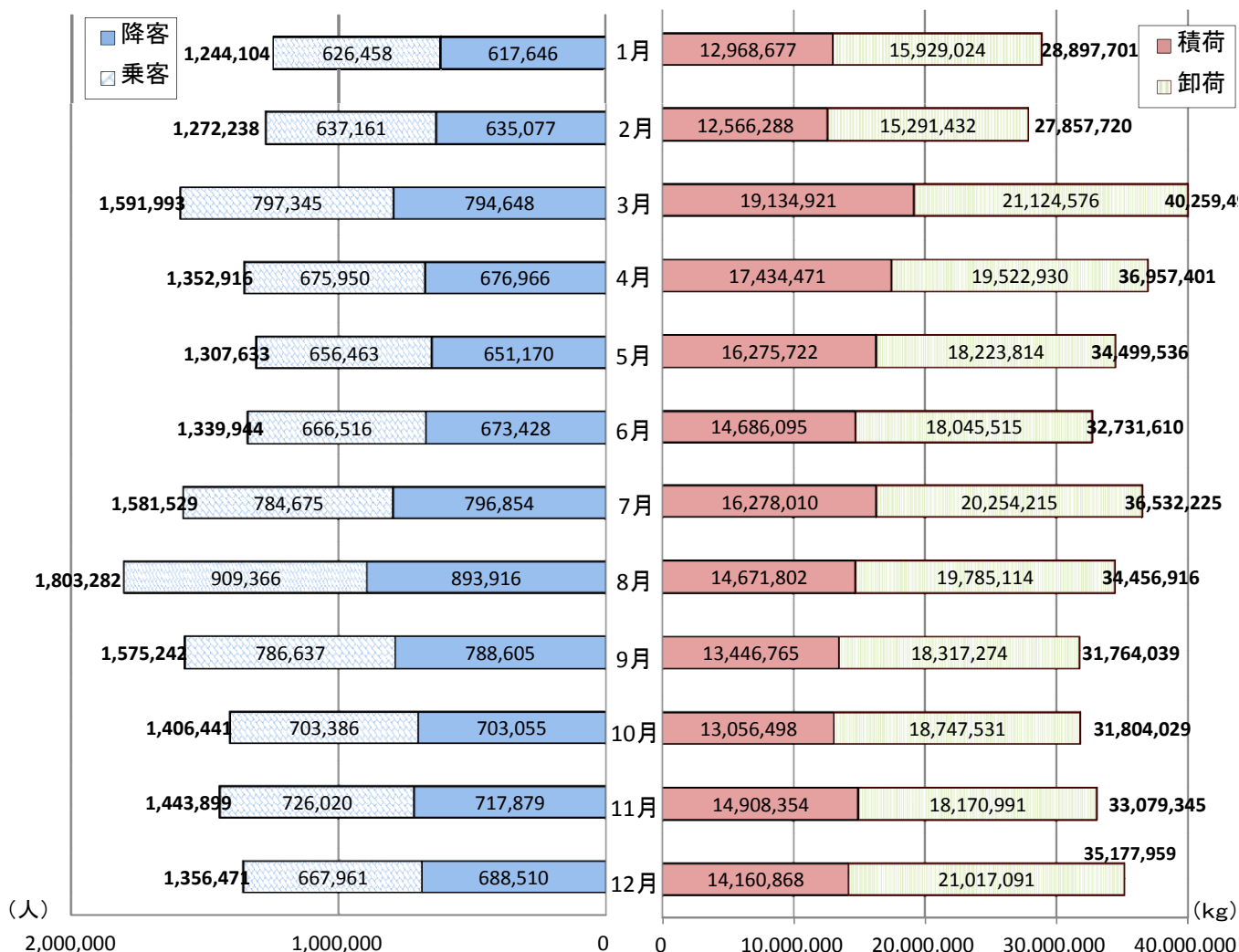
事業所数 17,995ヵ所



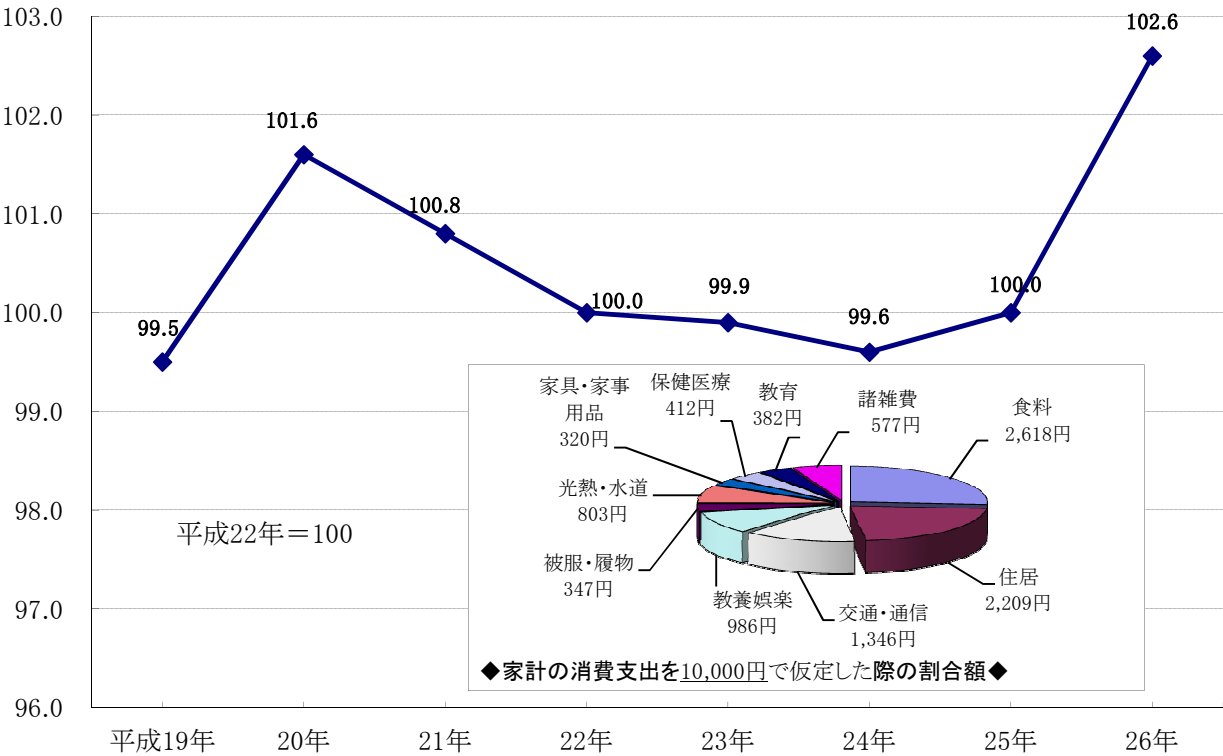
従業者数 156,511人



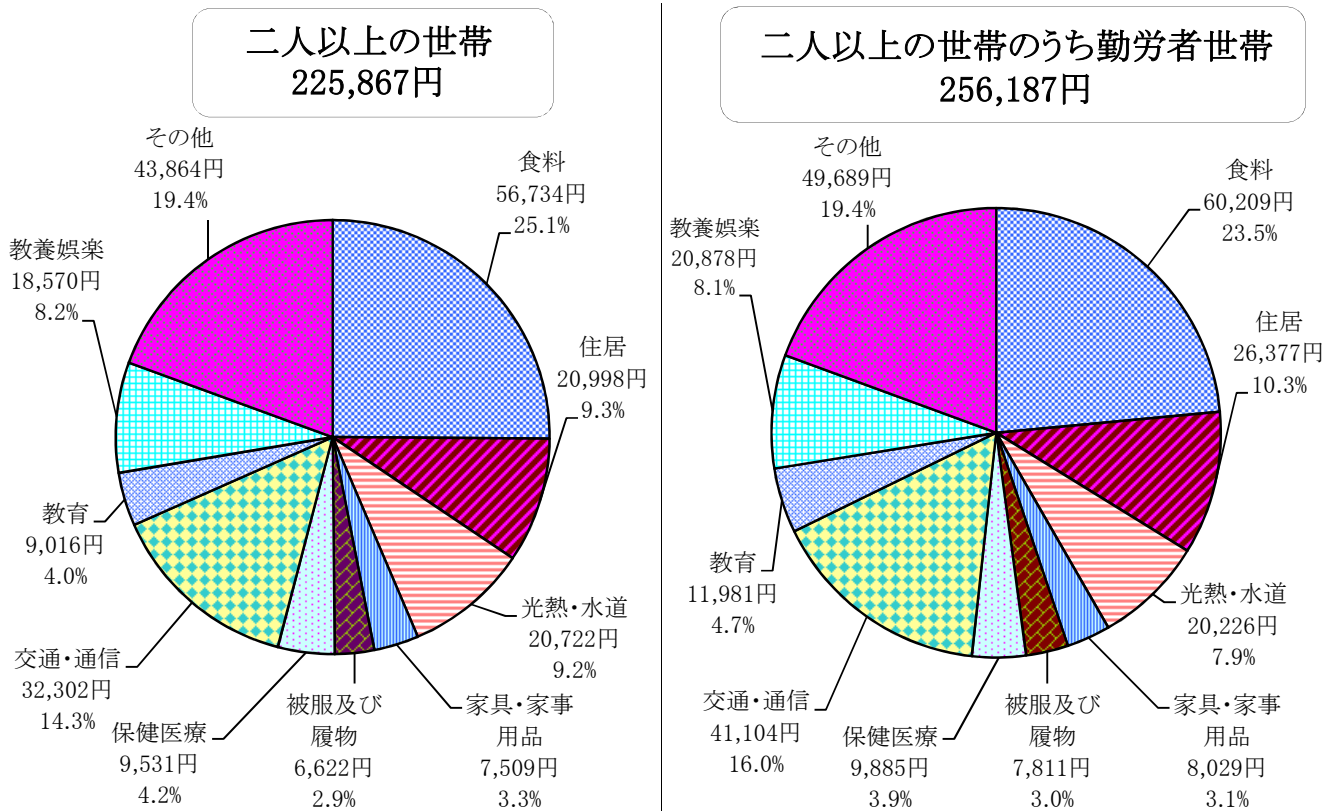
【那覇空港の旅客数と貨物量】(平成26年)



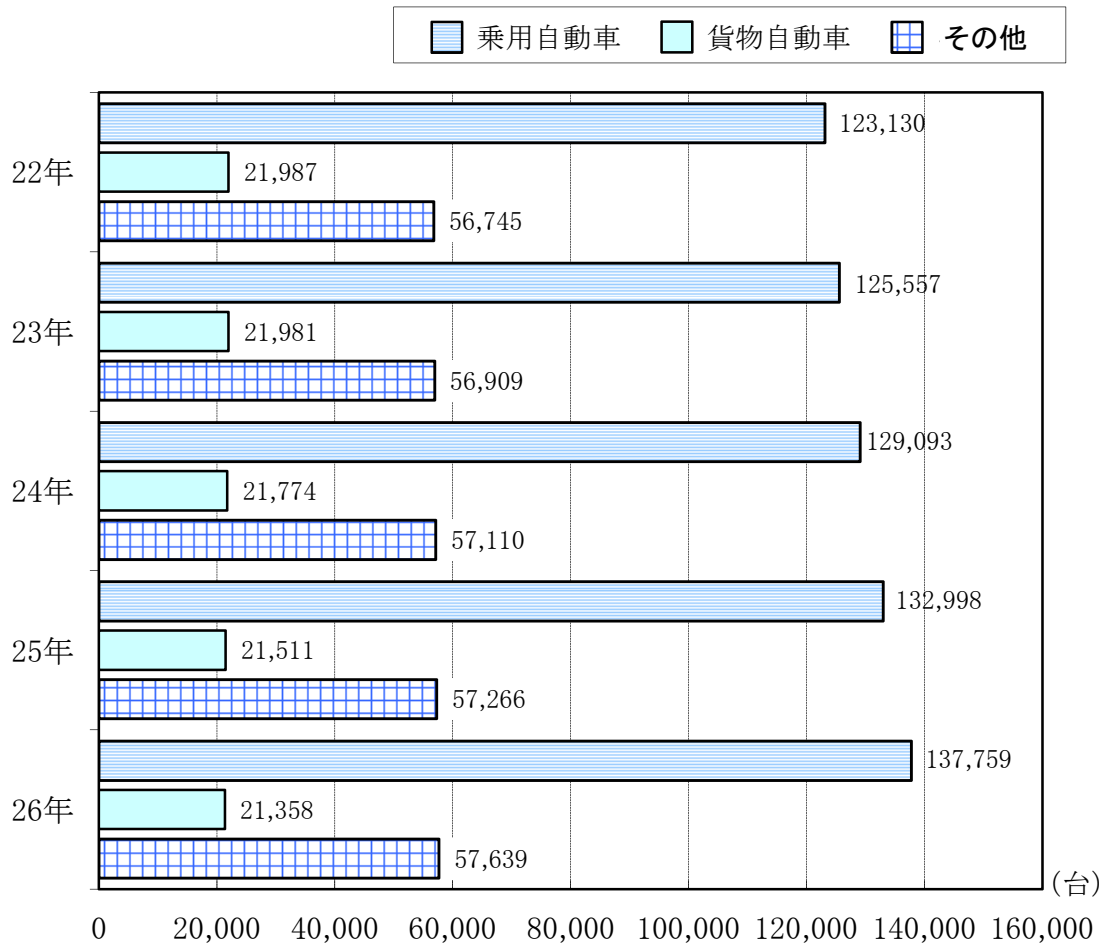
【消費者物価指数】



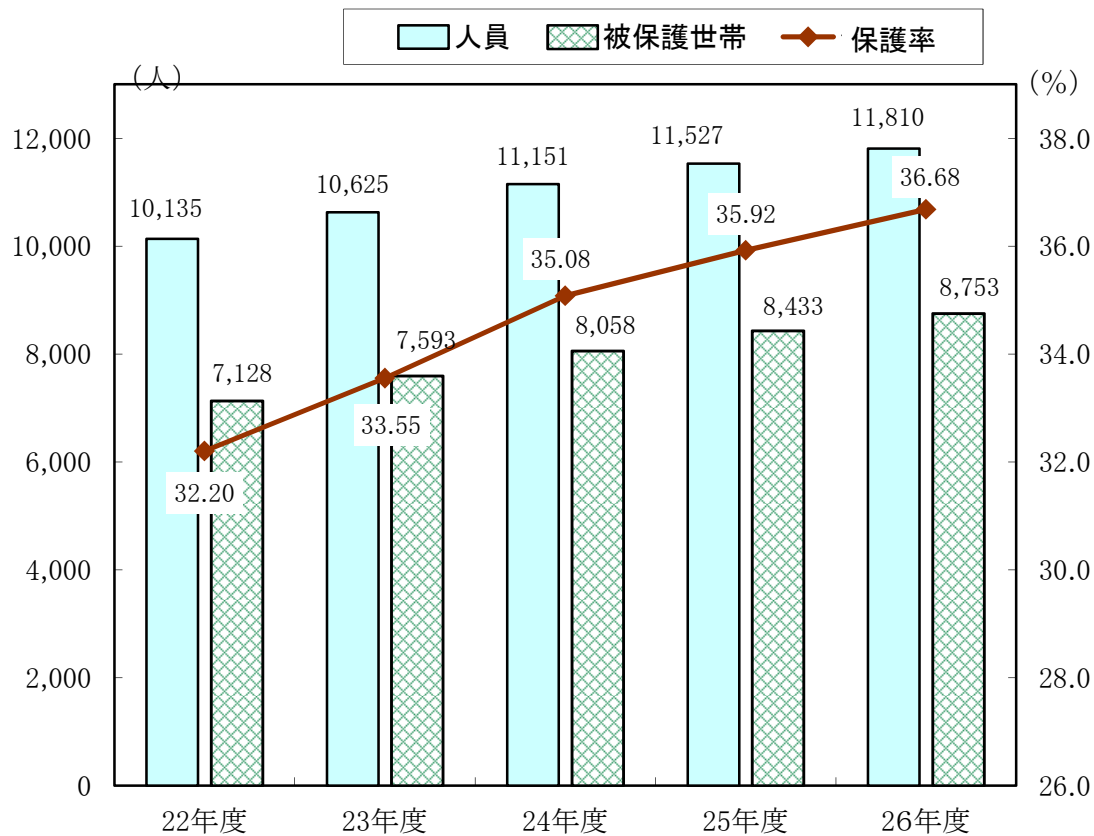
【1世帯あたり1ヶ月間の消費支出割合】(平成26年平均) 農林漁家世帯を含む



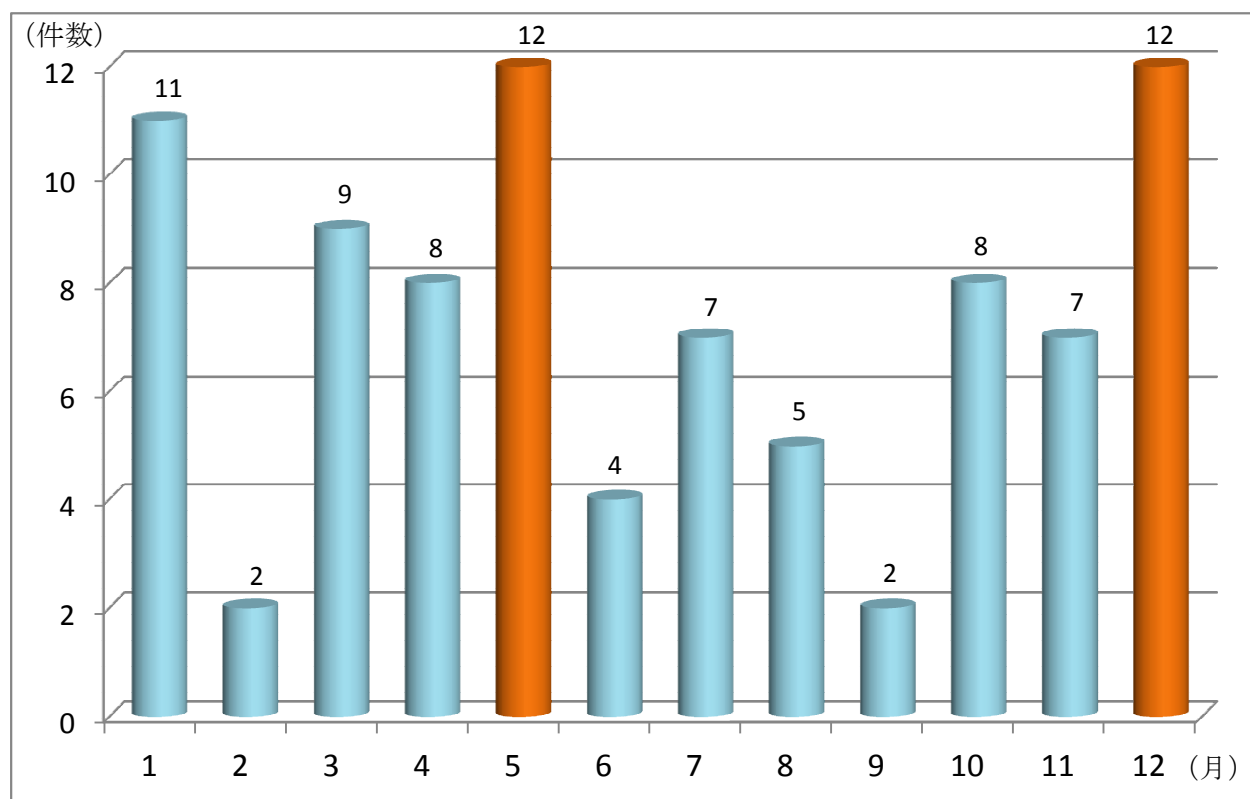
【自動車保有台数】



【生活保護の状況】

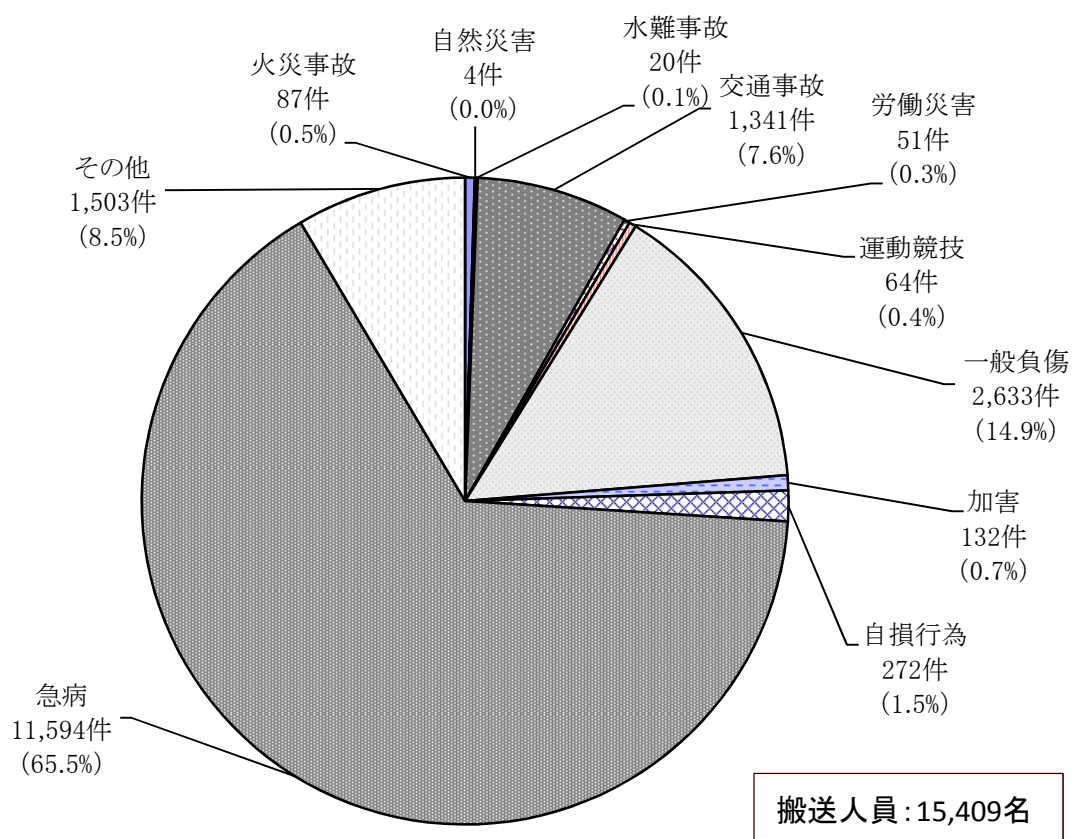


【月別火災件数】(平成26年 87件)

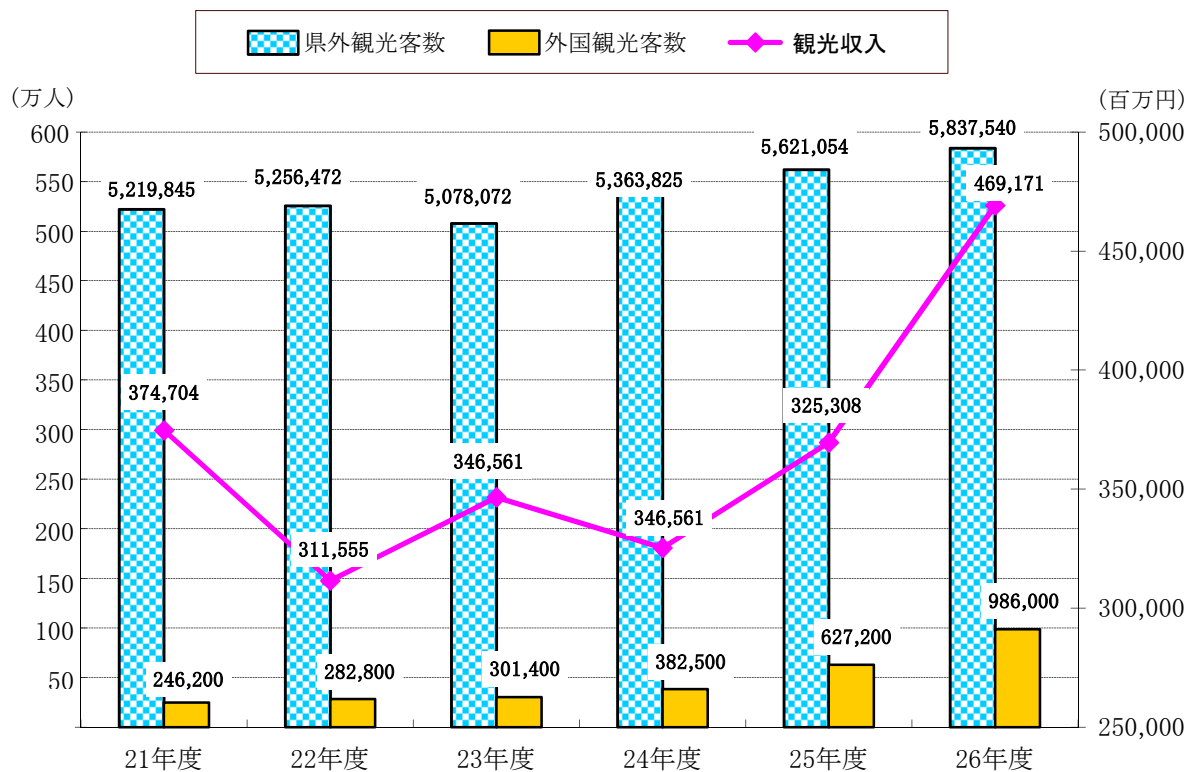


※平成26年度版より【レーダーグラフ】から【円柱棒グラフ】に変更しています

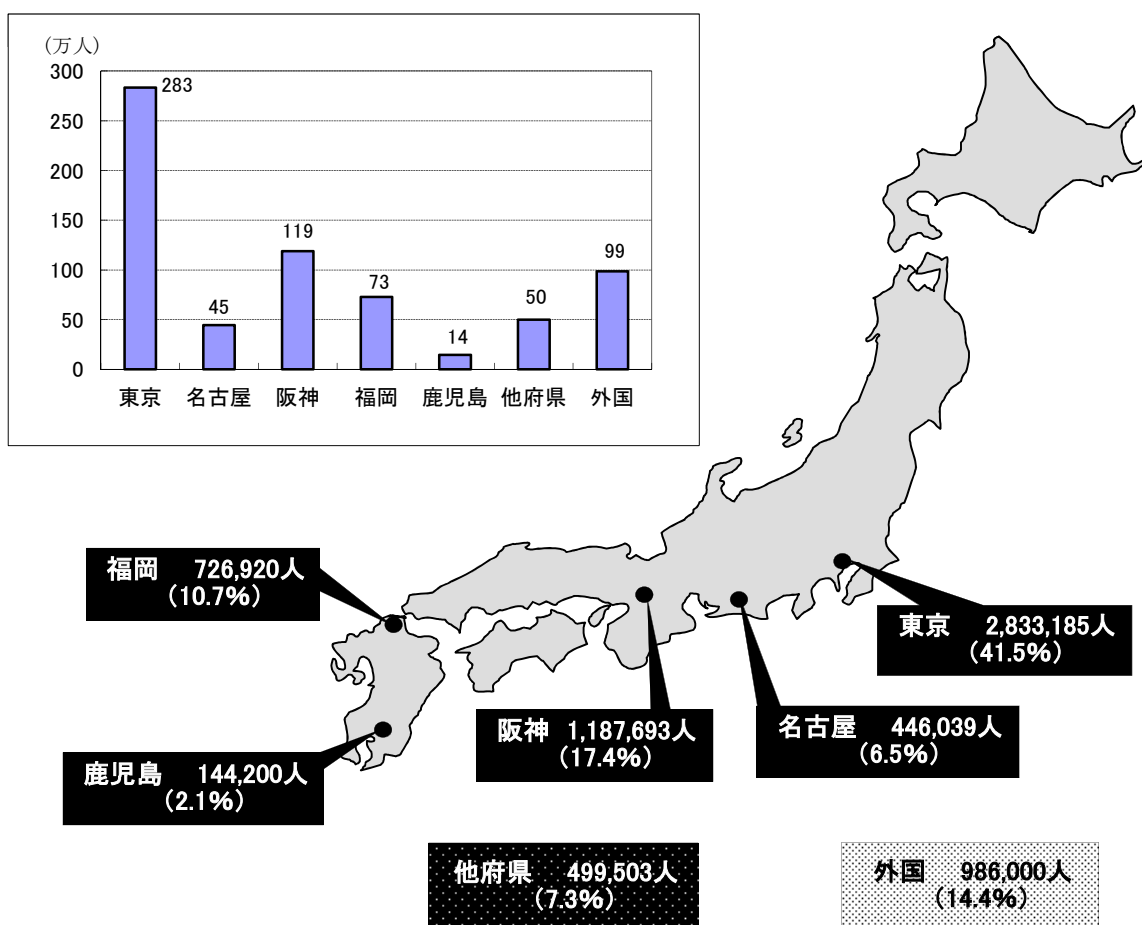
【救急活動状況】(平成26年 17,701件)



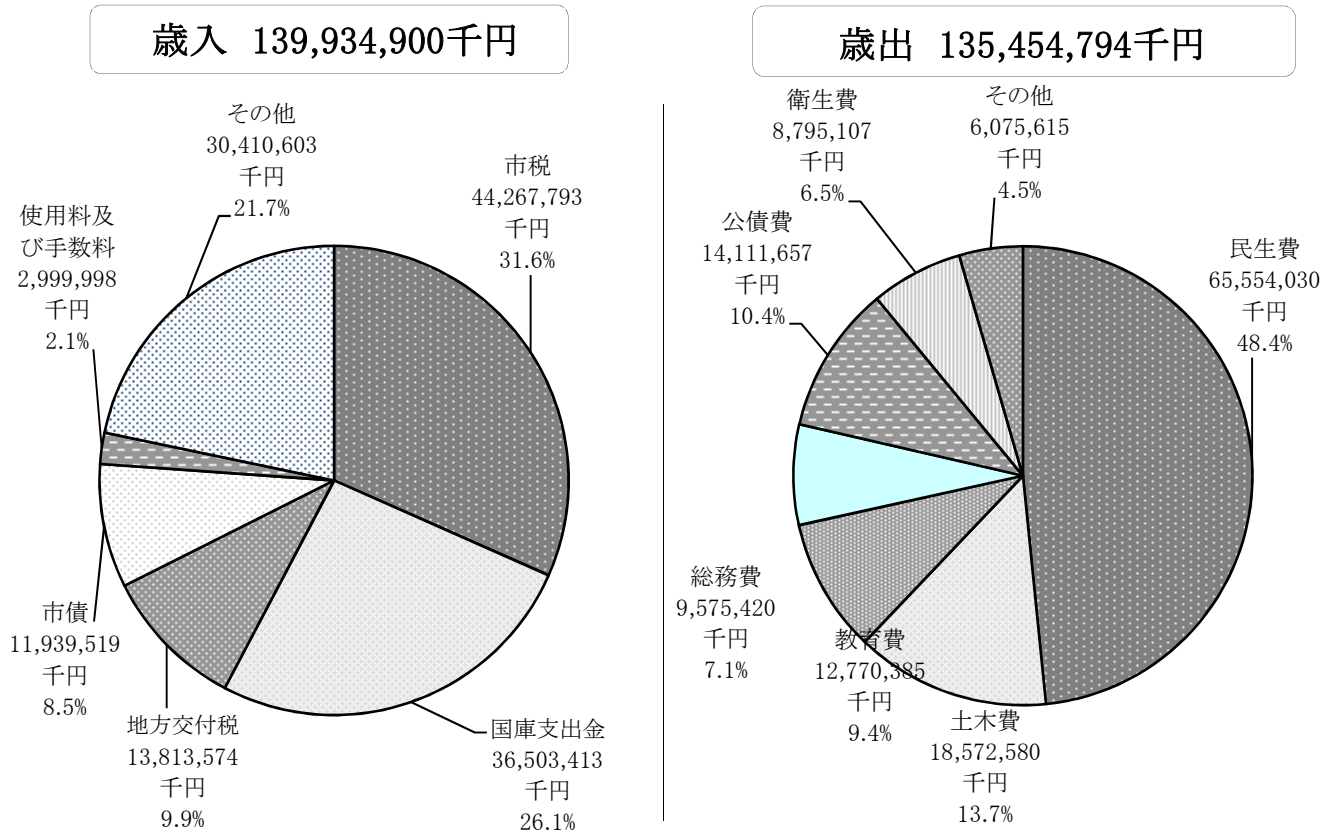
【入域観光客数及び観光収入の推移】



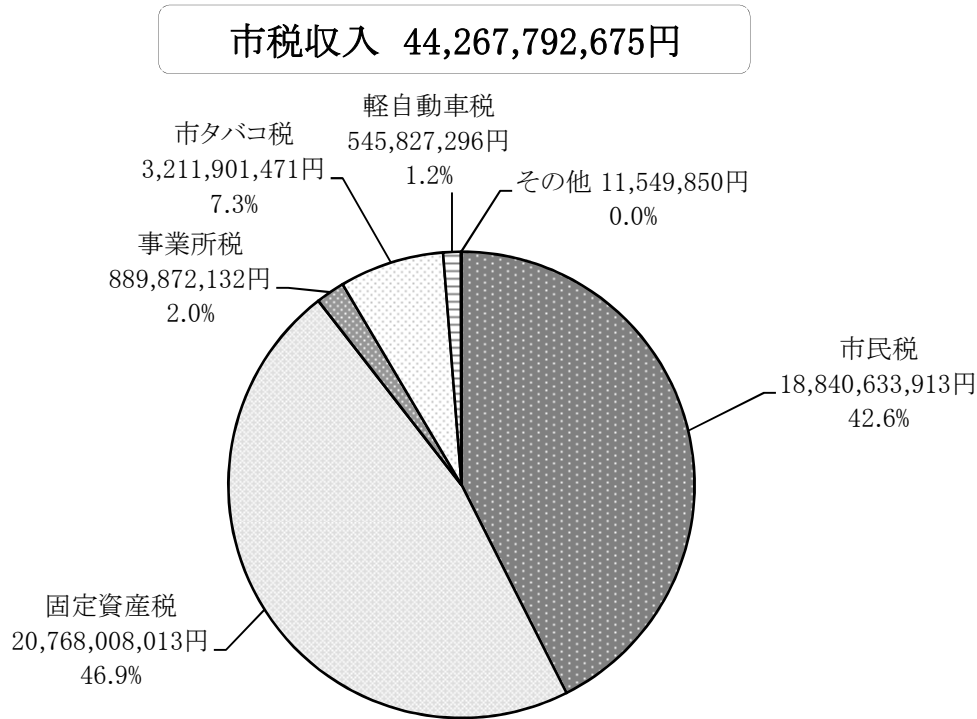
【航路別県外観光客数の構成比】(平成26年度 観光客総数 6,823,540人)



【一般会計】(平成26年度)

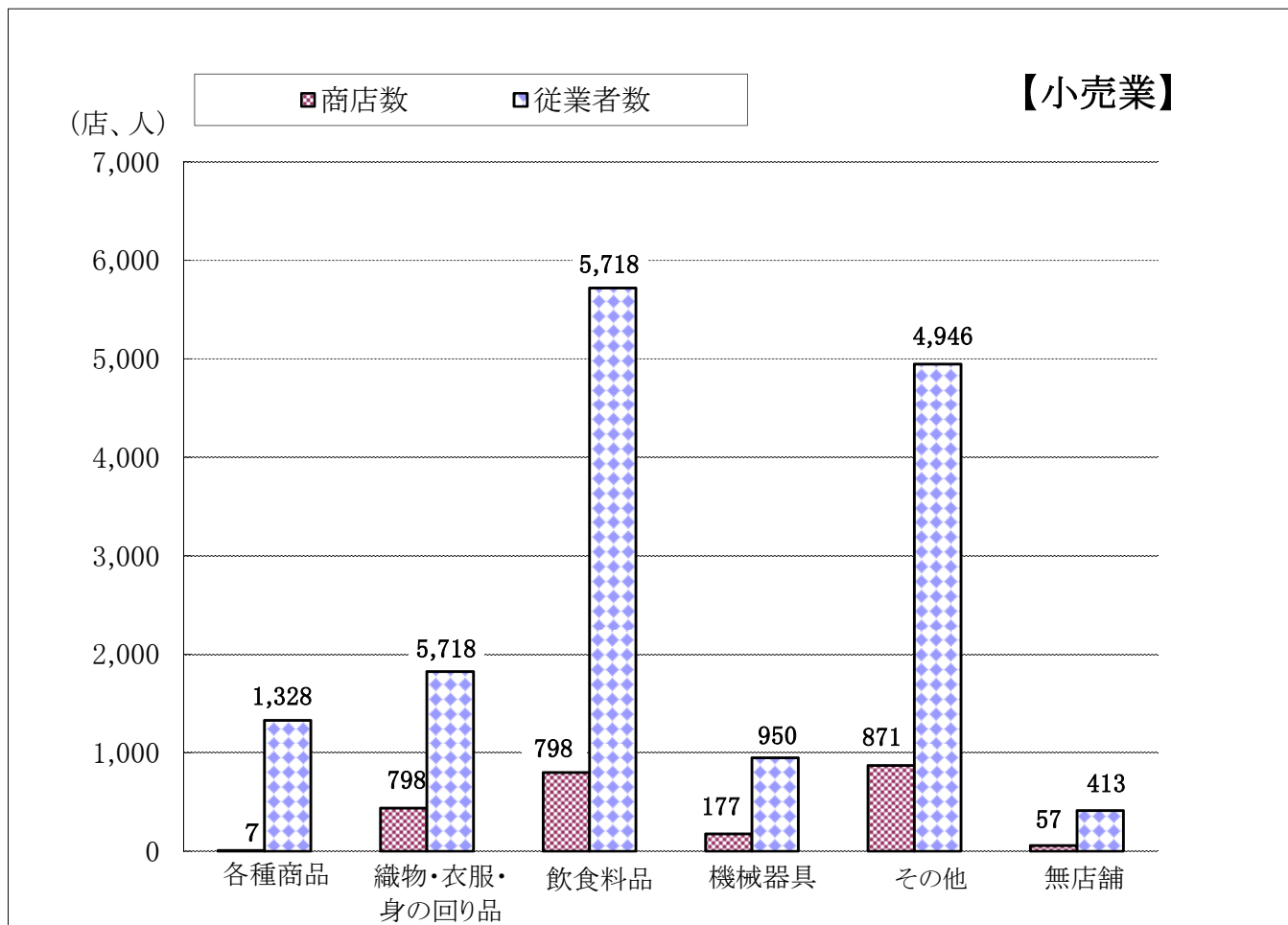
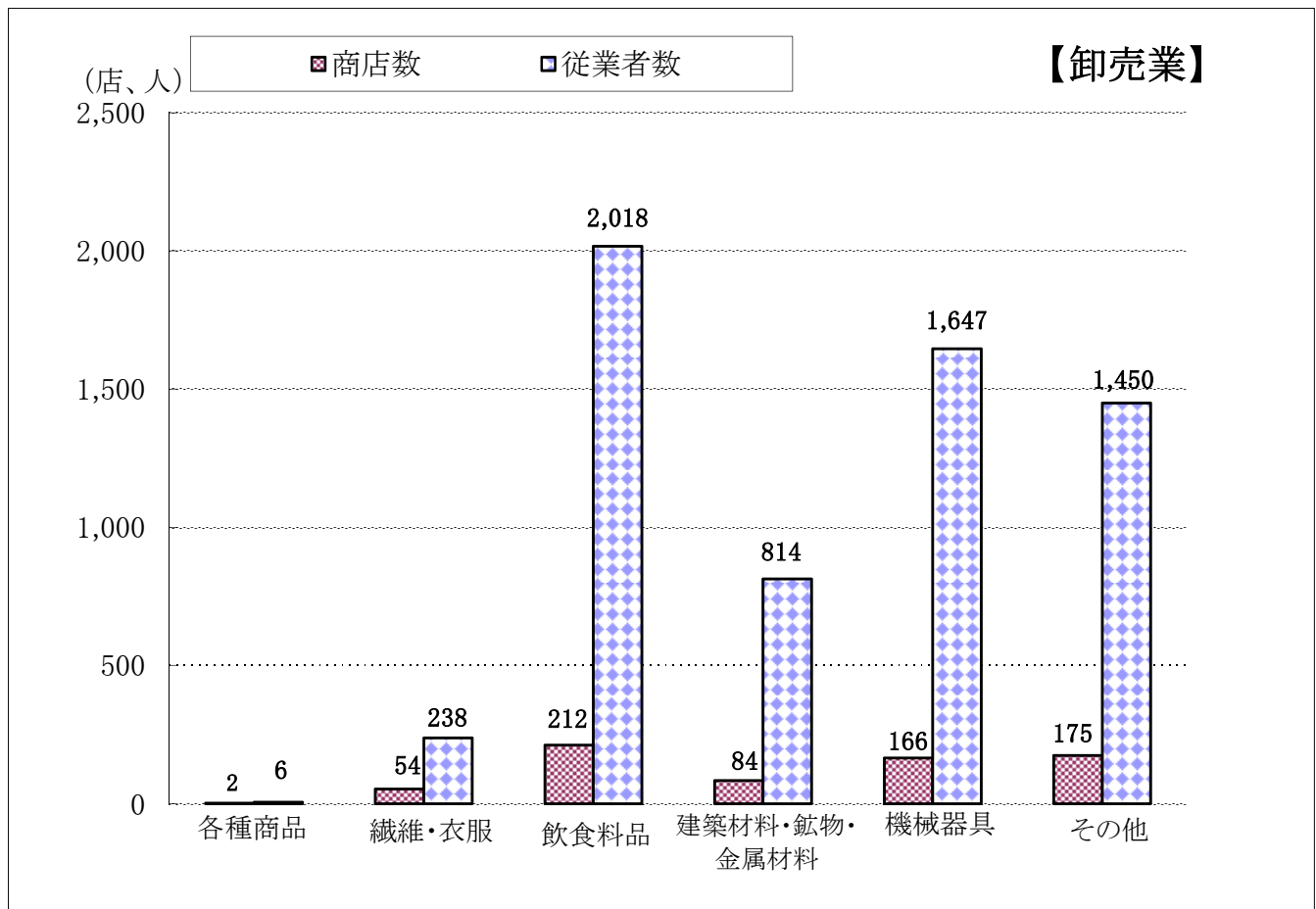


【市税収入状況】(平成26年度)



【産業中分類別商店数・従業者数】

(平成26年7月1日現在)





市民憲章

私たちは那覇市民であることに誇りを持ち、みんなで明るく住みよいまちをつくるため、すすんでつぎのことをまもりましょう。

- 1 私たちはまちを美しくしましょう
- 1 私たちは公共物を大切にしましょう
- 1 私たちは時間を守りましょう
- 1 私たちは交道德を重んじましょう
- 1 私たちは誰にも親切にしましょう

2017 市勢要覧

(発行 2017 年 3 月)

作成／那覇市 〒900-8585 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 1 番 1 号

企画・編集／総務部秘書広報課 電話 098-862-9942